京城日報 夕刊

撤兵を正式に通告
芳澤公使から王外交總長に 決定公文を送達す

【北京卅日發聯合】芳澤公使は卅日外交總長王蔭泰氏に對し山東派遣軍撤退決定公文を送達した、この撤退に關する帝國政府の聲明は卅日夕公使館から發表さる

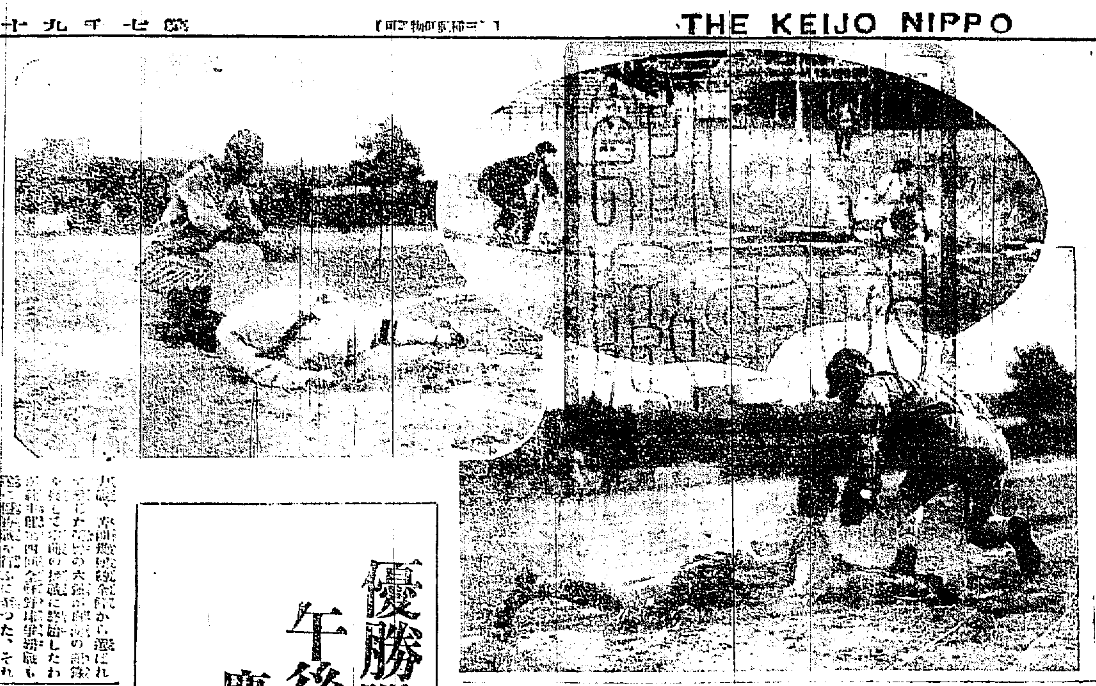
【北京卅日發電】芳澤公使は三十日午後外交總長王蔭泰氏に對し「再び派兵を要するが如き事態の生ぜざらんことを望む」旨の帝國政府の山東撤兵に關する聲明を交附した

御慶事迫る
一木宮相、磐瀬御用掛 相ついで參殿

【東京電報】三十一日午前九時二十分一木宮相、次いで同九時二十分磐瀬御用掛は、それぞれ赤坂離宮に參殿した、即ち皇后陛下は漸く御吉兆御切迫の御模様に拜せられ、御慶事も亦今明日中ではないかと拜察せられる

大元帥刀完成
刀工は月山貞勝氏 裝工は小松崎茂助氏 卅日上納を了する

【東京電報】聖上陛下御佩用の大元帥刀は大阪の月山貞勝氏が謹んできたへまつり、その外裝を淡路町の小松崎茂助氏が承はつてゐたがこれも完成したので、小松崎氏は三十日午後一時赤坂離宮に捧持して上納した、これは刃渡二尺八寸、[illegible]金具は總て金色燦然として壯嚴を極めたものである



大接戰だつた昨日の試合
（寫眞說明）（上）右八回裏遞信佐竹本壘を強襲して刺さる▲左、遞信川崎三壘を強襲▲（下）全州松本三壘を強襲

優勝戰は明日（一日）
午後四時から擧行
慶熙俱樂部に對して オール全州 遞信局 の勝者を以つて

[illegible]

=過去= 三回の對戰に[illegible]

=勝敗= [illegible]

山東派遣軍は青島に集結
列車準備の關係で 輸送は三日乃至五日かゝる

【青島三十日發電】撤兵の正式命令はまだ來ないが内命ありしものゝ如く、第十師團司令部は[illegible]

海軍陸戰隊も半數引揚げ
併し數と時期は不明

【東京電報】長江流域における我海軍の陸戰隊は上海に二千、漢口に三百、計二千三百名であるが[illegible]

閣公に報告

南京政府の不當課稅延期
南京政府外交部長から 矢田總領事に回答

【上海卅日發聯合】南京國民政府は卅日午後外交部長の名で矢田總領事に對し[illegible]目下の事情に照らし暫らく實施を延期する[illegible]、これで不當課稅の實施は當分延期されるわけである

印度支那の通商條約
日佛間に調印成る

【パリ卅日發】[illegible]

朝鐵連帶規則
發布さる

[illegible]八月三十一日總督府告示を以て發布され[illegible]九月一日から施行される

富平水利組合の工事に就て
安達土地改良部長

◇…抑も [illegible]

◇…同年 七月大洪水の被害[illegible]

◇…檢査 を行つたところ[illegible]

◇…前記 [illegible]

◇…部分 に關する補助金[illegible]

單獨整理は不可能か
大藏省で十五問題を協議

[illegible]

農業倉庫の實現に 殖產局躍起となる
豫算要求で大鉈にあひ また計畫の立直し

[illegible]

一、建設費補助
二、經營費補助
三、倉敷料補助
四、低利資金の供給
五、倉庫の業務
六、八ケ年計畫完成後の收容能力

[illegible]

今夕（八時から）
西村博士の講演
來れ！本社來青閣へ

査問會議の內容を公表す
軍艦衝突事件は 不可抗力とみる

[illegible]

鹽尻線認可

[illegible]

御大典時の警備協議會

[illegible]

國際新聞會議 愈よ閉會さる
廿九日滯りなく 諸種の決議案を可決して

【ジュネーヴ廿九日發聯合】[illegible]

辭令

[illegible]

神宮參拜

[illegible]

會

[illegible]

人

[illegible]

對山錄

[illegible]

幕末秘錄 劍俠艶魔
（卅六） 將棋倒し 渡邊默禪

[illegible]

あすの天氣

[illegible]

大音響の刹那
僚艦櫛立となる
艦は大震動と共に右舷へ傾く
暗黒の深夜魔の海の悲惨事
二丸機關兵の手記

况から「今夜の海難大慘事に就て、私の好きな京城日報に、遭難の實况をおしらせ致します」と

物凄い火焔が
二番艦艇を包む
眞二つに割れて
約十分間で沈沒

八月二十四日、秋の……した。……もう一時間程たって……も見えない暗の闇となりました。さうして各艦は一切の燈火を滅し

忽ち通過する
黒山の如き怪物
サット踊り込む
瀧なす海水の猛威

……な大きな怪物が横ぎりました。私はとっさに……器につかまりました。殆ど同時にサット踊をなして海水が踊り込んで來ました。あゝ……交代しやうとして起こした人は此一刹那に海水の渦にさらはれたのです。私は懸命の努力で手あたり次第にいろいろな物につかまりながら機關室に至って見ますと……を用意しました、一方では……

艦を離るべく、グリデ二區（後部マスト下）の前を……てをりました。その時、時計は十一時十八分を指してをりました。……交代者を呼びおこしてから、ラッタルをのぼって、機關室に行くつもりで、足をハッチの外に出し、

篝火影映ゆる
鵜飼に興じ給ふ
御壯擧を終らせられて
山の宮様御歸京

【岐阜電報】北アルプス御踏破の秩父宮殿下は……時岐阜御安着、官民多數の奉迎を受けさせられ、……料理鵜飼事務所に入らせられ、金華山の風光を賞させられ、御入浴御晩餐を召されて御休憩、金華山麓に打ちあぐる煙火、篝火天を焦がして下る十二艘の鵜飼船を御興深く御覽……一入御目とめて御覽あり、かくて長良河畔、夜にかじかなく十時四十分、御宿所御發、十一時三分岐阜驛御發御歸京の途に就かせられた。

秩父宮殿下
東京驛御着

【東京電報】日本アルプス御踏破に御成功あらせられた秩父宮殿下は、昨夜岐阜市を御出發あらせられ、今朝八時半東京驛着列車で御歸京になった。長途の御旅行にいさゝかの御疲勞もなく御機嫌麗はしく拜された

最後まで
沈着だった
慘憺たる努力
は酬ひられた

かれて最近距離たる鋼艦に向ひました。

けれども一時間位に半ノットの速力で、それ以上の速力を出せば危險なので……三晝夜不眠不休で、一號ポンプの手を休めることが出來ませんでした。こうして慘憺たる努力は酬いられ、辛うじて廿六日の朝舞鶴のドックに入りました。……

秋の釋奠

八月三十一日は恰も秋期釋奠に相當するので京城東小門内經學院にては盛大なる釋奠が執行されるので宇垣總督代理として……平井學務課長、米田京畿道知事、馬野府尹等は……禮拜を行つた……

訪日ロ機
岡山へ向ふ
けさ平壤を出發

【平壤特電】……平壤に著いたロシア訪日機は卅一日朝九時廿分……のコースをとり岡山へ向つた、なほ……

京城通過

大邱通過

ロ機は今日
立川へ

倡義團一味
判決言ひ渡さる
けふ京城地方法院で

荷物運搬中溺死

狩獵免狀に
寫眞を貼付
今年から實施

住宅八十戸を
府に寄附する
水下町の金氏が
耳順の記念に

明日より
執務時間變更

刑事と名乘り
財布を奪ひ取る
大膽極まる曲者
昨夜櫻井町で逮捕

少年殺しの
目星つく

「チンくが」「ブウー…」に代る
電車に警笛を取付く

行倒れ

今秋の本場所
京都で擧行

【東京電報】大日本相撲協會では今秋大阪において擧行する……を變更して來たる十月一日から晴天十一日間京都で擧行することに決した。

名人篠田實來る
浪花節界第一の人氣者
來月七日から京劇で

タクシーを呼ぶなら
京城自動車のメーター附に限る料金が正確で至便
ハイヤー用高級車も完備す

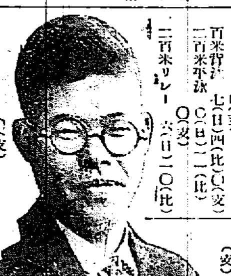
極東オリムピック

水上競技

二百米リレー

水上競技得點

日支庭球シングルス



入選し　猶馬辰雄君

澤之鶴　石崎　株式會社

コンセイ競技

千六百米

籠球競技

ピンポン個人

頭蓋骨を
粉碎す
露臺から落ちて

郵便飛行機

ア博士の
銅像を建設
延禧專門で計畫中

投身妓生の
死體發見
漢江下流に漂流

五千圓のひろい物　日本債券月報社

第十回復興債券初回くじ來月一日　僅か十圓で三千圓當ル大富くじ　中野商店

内科　胃腸病　石川醫院

製圖通信教授

白馬印ウヰスキー

金牌受領
御婦人に御注意
皆さん本椿香油の誇りは品質にあるのです
近來澁い油によい匂をつけて賣つて居る粗惡品が澤山あります是は髮の爲に最も惡いのですから匂だけに迷はず御注意下さい
東洋第一の賣れ行ある日本名物本椿香油に限ります

一、市内一圓均一
一、京龍間一圓五十錢均一
一、メーター付二哩迄一圓均一
右料金に對して午前零時より日出迄の間二割の割增料金を申受くる事
昭和九年八月廿九日
中央タクシー
漢陽自動車
内外自動車
京城自動車
鷄林自動車
朝日自動車

工事請負入札公告
今般其の筋の指示により左記の通りタクシー料金を改定し昭和九年九月一日より實行仕候間倍舊御引立御利用被下度此段及謹告候也
總督府内務局平壤土木出張所

金剛郷十色(六)

手塚[illegible]男

百相亭

[illegible]

婦人講座 家庭とは何んぞや(六)

高女卒業程度の女性に與へて

日本女子大學校長 麻生正藏

幸福の淵源は家庭

以上述べたところにより、米國の社會現象とその教育的風潮の一般がお判りになつたことでせう。個人主義を基調として發達せる米國が、人間の魂の憩りとして家庭の必要を痛感し、[illegible]ゐる結果であります。ゆゑにわれ〳〵は米國の片斷たる[illegible]を無批判に受け容れ、[illegible]ねばならぬと信ずる次第であります。

祈る親から祈る子が生れる

[illegible]

母の日母の道 母の恩

家庭主義は私の主張の[illegible]るが、母の日、母の道、母の恩といふ事をモツトーとして、[illegible]多數の子女を教養して來ました[illegible]將來もまたこの主義は[illegible]ありません、かの自由結婚[illegible]だエレンケイは[illegible]

家庭は文で持つ

デモクラシーの[illegible]

自由結婚者の幻滅

ジヨージ。メレデイスの小説にある二人の女性の一人は[illegible]結婚をし、一人は自由結婚をした。數年後二人は邂逅した。[illegible]

內職になる編物手藝

最近の流行品

[illegible]

少年時代には腕白小僧だつた

武者錬三氏語る

若かりし日の想ひ出…(三)

[illegible]役武者錬三としるされた文字が目につく。[illegible]

「明治十六年[illegible]江戸で生れたよ、小さい時から[illegible]

[illegible]

ゴルフにかけては自他共に許してゐる武者氏、家では十人の坊ちやんと三人の嬢さんとのいゝお父さんであるさうな。」

中繼放送の話……(七)

無線有線による方法

[illegible]

學藝界

[illegible]

JODK プログラム

九月一日(土曜日)

[illegible]

修養團講習會 十六日から京城

[illegible]

將棋新手合(三)

[illegible]

キネマ

大正館[illegible]

バイオリン尺八

[illegible]

荒浪地獄(五十二)

悟道軒圓玉述 藤井耕逢畫

伍介は伊丹屋長兵衛が[illegible]ときいて[illegible]伍「恐れながら申し上げますが、たゞ今お役人さまの仰せられました通り、長兵衛より金子を貰ひ受け、[illegible]

[illegible]

京城明治町二丁目 佐々木胃腸病院 入院隨意 電本三八七三 一七一六

並木式洋服裁縫講習會

講師 文化裁縫女學校教授 小山敏子女史
科目 子供服、婦人服、男女兒婦人帽子
日時 九月一日、二日、三日 毎日午後一時より四時半まで
會場 京城日報社「來青閣」
會費 金貳圓五十錢(開會當日會場にて受入)
携帶品 裁縫鋏、指貫、尺指、針、ハトロン紙二枚 各自希望のものを作製するにつき適宜持參方
材料 會場にて指示す
申込 京城日報社または服裝改善普及會(市内明治町一丁目電本二五九七番)か開會當日會場受付へ
主催 服裝改善普及會
後援 京城日報社

九月二日

[illegible]

廣告

飛ぶほど賣れる均一屋 [illegible]

色白くなる [illegible]

毛を生せ メデカル[illegible]

せきずい [illegible]

丁子屋の豫約販賣と服裝改善座談會

三新聞社會部長と丁子屋鈴木支配人との洋服問答

涼風爽やかに吹いて、秋がしのび足で近づいて參りました。シーズンに先だちまして、この冬の服裝につき、市內三紙の社會部長、京城日報田中氏、朝鮮新聞野崎氏、京城日日吉澤氏、それに大阪の大每支局長、朝鮮タイムスの山田氏のお集まりを乞ひまして、[illegible]御意見の交換を願ひました。左記は主として、當店が發表した九月一日から開始の冬服の豫約注文につきまして、前記の諸氏と、鈴木支配人との間に行はれた問答であります。

豫約注文と顧客の利益

(問)… 近來やかましい服裝改善の第一義は、いかにして良い洋服を、安く着られるかといふことです。顧客本位を標榜する丁子屋の洋服豫約販賣といふのは一體どういふ樣式で、服裝改善にさしづめいかなる關係をもつてゐますか。

(答)… つまり今から注文を服つて置いて、冬のシーズンまでにゆつくりと間に合せ、丁度注文主の都合のいゝ時分に出來あがるといふ便利な方法です。

(問)… それが文市價若くは別誂の注文服より三割も安く、出來るといふ理由は。

(答)… 多數の註文を一個にして置いて、同時に裁斷し、縫製仕上を行ふので、いはゆる大量生産による工賃の節約、時間と技術上の節約とが自然に製品の上に價格の低減を來すことになります。

(問)… もう少し詳しく豫約註文による製造の內容を聞かせて下さい。

(答)… 當店の豫約販賣は最も進歩した方法です。即ち註文を受けたセビロ、モーニング等を長短取合せ十五種の型に決定し寸法の大小を適當に按排して、十着分を一日に裁斷するところに、まづ豫約註文の特色とする利益が生じます。

(問)… あの厚い羅紗地の十着分を一度に裁斷するのは困難でせう。」

(答)… 無論機械です。イーストマンの電氣裁斷機にかけますから、一着毎に手で裁斷するのにくらべて、能率の點で、數十倍の力があります。それが縫製部を經て、本縫部に廻しますが本縫部は十一種の分業組織になつてゐて、袖は袖、襟は襟と、各專門部に優秀な裁縫師が手なれた一定の寸法に則つて、總あげるのです。最後に仕上部で[illegible]完成し更に[illegible]部を經て[illegible]の手を離れるのです。この分業組織から工賃が低減し能率が非常にあがるわけです。

(問)… すると普通一着〳〵づゝ特別に注文する洋服と豫約注文による價格の比較はいつたいどんなものですか。

(答)… 左樣ですね。實際において豫約の一着分の工賃は別誂の三着分の工賃に當たりますね。從つて工賃は格段に安く出來ることとなります。

(問)… なる程、豫約注文といふのは合理的な注文方法ですね。

倫敦から直輸入の布地

(問)… 一着づゝの別あつらひ注文服は大分節約に不利益な點が多いやうですね。

(答)… 確に不利益ですね。從來の注文服では、注文から納品までに相當の日數を要しなければなりません。布地にしても一着、一着の裁斷では非常に不經濟です。洋服屋の勞費がかさむので[illegible]自然價段を高くするわけで、合理的ではありません。豫約注文はこれらの不便をすべて除かれるので、安い物は買る方にも賣ふ方にも都合がいゝのです。」

(問)… この冬の服地はもうとのつてゐるのですか。

(答)… え、もう二ヶ月前でロンドンに注文したのが昨今到着いたしましたので、豫約注文を引受ける形になつたのです。洋服店にとつて、この服地の仕入れといふことが、最も苦心を要することで、結局の成績にまるのです。

(問)… 流行の服地は、洋服屋が勝手に選定してよこすのではないのですか。

(答)… いや、どういたしまして、この冬の服地の選擇は昨年の七八月頃から直接われ〳〵が行ふのです。ロンドンやハツダースフイールドにある代表的のデザイナーが、[illegible]大仕掛な世界的の流行研究所を開き、特に東洋方面の趣味や嗜好の[illegible]を參酌して、[illegible]に註文を發します。それがロンドンやハツダースフイールドの代表的商社を中心に[illegible]

(答)… 歐州の[illegible]

(問)… ロンドンから直輸入[illegible]

冬服豫約

[illegible]

引受開始 九月一日より

(規定)
註文期日 九月一日より[illegible]
出來期日 [illegible]
前手付 [illegible]
地方 [illegible]

●セビロ三揃(價段)

A	英國製	最高級ウオステツド	六七、〇〇
B	英國製	高級ウオツテツト	五八、〇〇
C	英國製	高級細サージ	四八、〇〇

●モーニングコート

佛國製	上等メルトン	上着チヨツキ	[illegible]
[illegible]	鶴コール	ズボン	二五、〇〇

(株式)京城南大門通 丁子屋洋服店 電話本局(四一〇六、四二九、三七一〇)

(問)… きてる中に洋服の形がくづれたり格好の惡くなるのは裁斷にもよりませうがシユランクが完全でない爲ですね。

(答)… 左樣です。羊毛はちぢむのが特質ですから、充分シユランクを加へないと[illegible]

(答)… 羊毛は[illegible]當然です。だから必ず服地の[illegible]かけます。當店では、完全な[illegible]シユランク(ゆのし)を[illegible]時分にシユランクを用ひますので普通の方法より五パーセントもよく縮ます。」

(問)… 羊毛は品質の如何によつて[illegible]があるやうですね。

豫約注文と特別の設備

[illegible]し本年六月積出したのが約六十日を經て昨今到着するのです

(問)… その間に仲介商人の手は經ないのですか。」

(答)… すべて直輸入です。從來は神戶の商館の手で買ひ[illegible]をしましたが、一兩年來すべて仲介商人を排して直接ロンドンおよびハツダースフイールドの製造家から取引します。その方がすでに材料の格安をはかり、[illegible]の選擇も自由に出來る譯です。

(問)… ロンドン製ではいはゆる、日本人趣味と合致しない事がありませんか。

(答)… いや、今日ではそんな事は絶對にありません。從來の外國品は特に東洋向きとして製織したものですが、最近日本人の洋服の需要は、すべて世界的になつて來まして、織物においても特に東洋向きなどといふ[illegible]は受けてをりません。但し東洋の[illegible]關係を考慮して、色彩や[illegible]に多分の注意を拂ふことは事實です。

(問)… 脫色の心配はないのですか。

(答)… 左樣です。ですから當店では[illegible]がつくとすぐ染色試驗と日光試驗を行ひます。[illegible]

金組を益增加する
總督府の方針
明年度は廿一ヶ所を　今後は毎年廿五六ケ所を增設

金融組合は適切な機關だけに增設の必要を感じ各地とも毎年増設の要望勝運の趨勢を辿りつゝあるが總督府の方針としても相當の資格で明年度の所設數は大體廿一ヶ所に内定したと同時に京畿道の現在出張所七ケ所中二ケ所だけを金組に昇格させる腹らしい、又總督府は今後四ヶ年間に毎年廿五六ヶ所宛增設し、金組の經營維持が出來る範圍内で金組間の區域を狹くし金組相互間の連絡を緊々密接にし且組合員同志の金組に對する理解を一般に深める方針であるよ

京城組銀が
答申案を總會

京城組合銀行では廿金融調查準備委員會の答申案を協議した結果安三氏の手で調査研究中であつたが、愈々出來上つたので來月の組合銀行の總會に掛けることになつた、而して總會には組合銀行は一行一名の委員を推選すること に決定した

震手補償額
八千二百萬圓

【東京電報】震災手形の整理に關しては七行の損失手形額八千二百萬圓損失を補償すべく決定したが今後調査決定すべき額を加へると合計一億五百萬圓となる見込みで補償限度より約五百萬圓を超過する模樣である

金組の
倉庫利用狀況

鮮内における金融組合經營の倉庫は年々利用者の増加と共に好況を辿り、大正十五年末には總數五百廿一組合、倉庫數二百廿八、穀物の出入額は二百五十萬圓以外に達した、併し之が倉庫利用者は小作人及自作農の利用ではなく、商人及地主の利用が多かつたと云ふに過ぎない、併し小作人や自作農業者の經濟狀態は倉庫を利用して資金の防止又は共濟を計る程の餘裕はない、故に組合員の利用上からは殆んど浅薄な倉庫の價値なしと云つてよく金融組合本來の目的たる中產階級以下の利益より見るには何程の役に立つてゐない、今大正十年以來、金融組合農業倉庫の貨物保管状況を示せば次の如くである

年次	組合數	倉庫設備組合數
大正十年度	四三三	二五〇
同十一年度	四六一	二六〇
同十二年度	四七五	二七〇
同十三年度	五〇九	二〇〇
同十四年度	五二一	三〇〇

年次	入庫 千圓	出庫 千圓	年度末現在高 千圓
大正十一年度	一、〇四四	一、〇六	三六
十二年度	三、五三	三、三四	三六
十三年度	三、五〇九	三、六九	八〇
十四年度	三、九八	三、九三	一、三

倉出入貨物の種類は、米、籾、大豆、麻布、煙草、叺、木棉、繭、薬、其他である

米穀大會議案
京城穀組から

京城穀物組合より今回の米穀大會に提案すべき項目中「籾の生産檢査」は從來毎回提出して毎回可決され且當局も賛成して居るが、役所の關係でまだ實施の運びに至らない、併し石籾の生産檢査を實施の上は一、米の石抜きは輸移出品檢の絶對條件である、從つて之れを籾のうちに檢査をすると籾のうちか

有志會の鮮人委員
同友會に助を求む
同友會は飽迄一店主義

有志會同會員鮮人側の有志の意見は十日夜京城同友會の會員等と會見し、同友會にも援助を求めた、これは有志會が大部分鮮人商人で同人側は鮮人委員を加へた……

京城商業會議所……有志會の鮮人委員……

十五銀の
整理案
實は現困難

【東京電報】十五銀行の整理案は……

近く態度決定
卸商聯盟

平北穀組から

本日開催の全鮮穀物大會に平北穀物組合からの提案左の如し

一、運送店一驛一店主義反對
一、穀物貨物にして倉庫中減損したものに對して賠償方法を鐵道局へ交渉の件
一、其他穀物關係二件

肥料智識の普及を

鮮内の穀物増加方法は施肥の不足より年年其需要の合格せぬ者がある、これに就ての指導徹底せしめる必要があると見られ今回の米穀大會に於て肥料の智識を農民に普及方の決議を見るに至るらしい

印度の
綿糸關税
委員會を通過

【東京電報】印度協會二十日入電によれば、印度議會委員會で討議中の綿絲關税引上げ法案は、大體我國の有利に展開し結局否決が戒は延期の模樣であつたが、二十九日委員會の形勢が逆轉し、僅かに一票の差で原案が通過し九月一日の本會議に上程されることになつた

本年八月中の新義州、鎮南浦、仁川、群山、木浦、釜山、元山、清津の汽船、帆船の出入は左の如し

	汽船	帆船
新義州	一三二	四三三
鎮南浦	一二六	二二四
仁川	二二六	一一四
群山	一〇八	一一四
木浦	四四三	三一五
釜山	五九四	一七九
元山	四七七	一六九
清津	二六七	二〇一

船舶出入數減

京城商工聯合會調査による……

實際製產高

運合問題
内地から回答

運送合同の成績につき京城商業會議所から内地各都市の會議所に照會中の處、二十一日迄に大阪、神戸、廣島、下關、福岡、門司等から夫々回答があつた、近く之を纏めて會議所から發表される筈であるが、これによる大體に於て運送合同による荷主側の利益とするところが殆どなく、却つて一、取扱が不親切、積替しなかつたこと等に對して荷主の不平の聲が高いようである、中には又合同

金組聯合會が
高利貸付を引下げ
九月一日より實施
金組も最高を隨時引下

鮮内各道金融組合聯合會は金融組合（村落都市）に對する長期貸付利率を全部一厘に引下げ九月一日より實施に決定した、これと同時に各都市村落組合も組合員に對する長期（定期）に限り従來の一錢四分乃至五分より二分乃至二分五厘下げの大體一錢二分五厘とし、隨時實施し得ることになつたが、組合の方は各組合員にかける必要あり實施は早くて九月中旬頃となるらしい、尚今回の利下に均霑するは四、五年以前の貸出に係るもので一錢四分五厘乃至五分と云ふ高利のものがあり、その以後の貸出利率が五分四厘となつてゐる爲めで此分には關係のないものであるが叶の高利貸出は全鮮に相當あり京畿道だけでも百萬圓に上つてゐると

物產物語
螺鈿漆器（上）（七十八）

漆器の尤物　朝鮮の漆器といへばたいていはあの素朴な生地漆かさもなくば螺鈿のピカ〳〵した細工を思ひ起こす。一は普通的であることにおいて人々の眼に親み、一はその優雅、細工の精巧微細なることにおいて見るものを驚かせる。市來朝鮮の漆器を大別すれば螺鈿漆器、生地漆器（生漆など）および黒漆等はその工藝的

な價値から見ても朝鮮特産としこの意匠から説いてもその尤もなるものである。その感覺的のにほひは高級とは一種異、だ感じと調和とを持つてゐる。それならばこの貴づくり螺鈿漆工は、いつの時から、どうして發達し、今どうなつてゐるか。

壺中の夢境　朝鮮では新羅時代に漆典といふ官職が設けられてゐた。また高麗朝に鈿函造成都監が設かれてあるところから見ると、この地の漆工藝術はかなり、その起源が古くかつ爲政者の保護獎勵を得て隆盛であつたといふことをうかゞひうる。その後の移り變りはいづこの國の工藝も同じこと、國威の消長に相應して一進一退は兎れ難く李朝中期以降に一壺中の夢境を限界されてゐた工官の保護も、明治二十七年三道統制使の廢止と共に衰微し、更に明治四十三年以降衰頽の極に沈したといふ有樣である（寫眞は螺鈿卓子（日本製）……

木關を廢止しても
自給自足は難しい
移入が無税なので之に壓迫される虞がある

木材關税特例の撤廢は自給自足の促進上又安東の鋸材界から來る供給の不圓滑を防止するため早晩實施すべきものとの見解で、當局は來議會に再び提出する意嚮らしいが、これに對し一部では左の如き觀測も可成り有力に說かれてゐる 特例の撤廢で鮮内の製材業者が租相場の不安から免れ從來操短せる向も全能力の操業をして、現在製材能力は左表の如く七十五萬尺締で自給自足の前途には尚一つの障害がある即ち最近三ヶ年間における平均一ヶ年の移入材は約四十五萬尺締で總移入約卅九萬尺締の總移入超過となる、鮮内工場の現在製材能力は十六萬尺締の總移入超過となるが、鮮内工場の現在製材能力は左の通りである（單位萬尺締）▲新義州四〇▲咸興一五▲京仁四▲仁川七▲會寧五▲其他五合計七十六萬尺締である

鮮内總消費

鮮内の總消費年額は約一千萬尺締となり一ヶ年の需要量高七十一萬尺締乃至七十五萬尺〆の大半は移入材に仰いでゐることになる、此の中移入材は大部分北洋材で總需要の半分だけで一ヶ年五萬尺〆に達してゐるが、一部米材は殆ど全部は満洲材、その中

安東材が六割

近く關税撤廢止に依り鮮内林業の材が六割を占め得ても、その代りに無限の供給力ある北洋材其他の内地材の無税なので之に壓迫されること となり、鮮内工場の自給自足促進上に尚一つの障害となりはせぬかとの懸念が去り得ぬ、と諸洲村の割合は左の如し。

板材九割九分四厘▲挽材九割五分八厘▲原木八割九分八厘▲枕木七割五分七厘▲其他九割九分五厘

大分縣見本市
九月一日二日
公會堂で開催

大分縣の鮮滿旅商隊の商品見本市は愈々九月一日二日の兩日京城公會堂で開催されるが、其見本商品は左の如くで（毎日午前九時より午後四時迄）ある、▲農産、七島莚、漆器、椎茸、各種鑵詰、水產食料品、各種織物類、竹細工品、別府湯の花、蒲紙其他、肥料、香油等、家具類、細鑵用原糸、ナイフ、ステッキ、玩具、竹紋ホーク、別府總其他土產品各種

綿布强含み

永らく沈滯狀態にあつた鮮鮮綿布界も内地商況に追從して漸次好轉を含んで來たが、本年の市況としては朝鮮の經濟狀態から見て一氣高は望めないも減じ、夏枯れの閑散期を思はせた、主要港の出入數は左の如し

地盤は脆弱か

最終値比較▲京取十錢安▲東新一圓五十錢安▲大新一圓九十錢安▲東新三圓五十錢安

深押しのあらう筈はないが昨今の下げ歩み氣分はとかく相場の強味を眈らしめ立直りの時期を更に先へ延ばしたかの觀がある、しかし全體の情勢によれば米作は漸く豐作氣分が濃厚となつたので一層豫想高の買取でも見ることゝならば今日下值を保合つたとけ却つて相場の足場は固まるものとの觀方もあり一部頭筋は目先強弱の商標である

新田の京取賣

新田筋は漸く買攻を督ぶるものゝ如く頃來京取を賣掛けつゝあるが今朝も新株によく賣出みを試みその買建玉は僅か七百六十枚に減じた一方大新と東新とには弗々買を進めはせ今朝は別項手口の通り手合せが出來たものである

大新下長傾向

頃來漸次賣越を増して來た大新株頗く下長の傾向となり今や前場賣人に於ては賣方六店買方十店となつたが東新の上長と對比して面白い成行である

端株買方追證

本日は短期端株に乘替へ向ひが出來たがいづれも算定値が低下したので買方には左の通り追證がかゝり前場引後夫々市場に納入された

▲久原一株に付三圓替十株分三十圓▲鐘新一株に付一圓替二十株分二十圓▲鐘新一株に付き一圓替四十株分四十圓

代引日步異動

今朝は日歩の關係に變化はなかつたが端株は別項の通り算定の相場と同時に京大新代引は四百枚増加の日步四錢上げ京取代引が百枚增鐘新同上十枚減で東新株不足七十枚増等の動きがあつた

京取前場手口

京取　賣方新田一三▲買方吉川三〇田友三〇日三七〇計一三〇
大新　賣方大林四〇京園五〇成滑五〇田道二〇市川二〇新田二〇
東新　賣方大林四〇白井二〇成滑林三〇共四〇吉川二〇新田五〇

大阪株式短期建玉

	賣方	買方	取組高
大新	三七	一四九	二七二〇
鐘新	三〇	三六	三八〇
紡新	五	三四	一二〇

期米

新市待に
閑散焦付

前場　先限二十七圓七十錢と戻したがムウの賣附入十錢と押し寄ねの小高き移りに六十二錢と跳ね閑散に止め
後場　受渡の爲め休會

内海筋賣抜く

今前場限り中限に觸つた先物十月限は取組高も中限へ轉一千三百石に減少し買方の中堅丸ウの買建が八千百石に減じたのは同店を機關店として了る内海筋が賣退いた爲めと云はれてゐる

十一限は見物

今朝は何れも新市待ちで新規に手を出す向がなく從つて相場は二十七圓六十錢で低みに焦付き案外平穩に趨りするも十一限新米限月で買ちき生れる十一限は新米限の限月として開き當局、市場實際に期すると同時に不足あり且は豐作の爲めに大勢を決すべきや大豆當日や秋田和の如何幹幾多の種類に掛かる如何相場が多く出るか可き狀を帯びて數題問題を將來の消息を醸出するに依る物のであるからか今の變動こそ而に注目すべきであると云はれてゐる

新市下鞘の程度
百五六十丁か

今度生れる新市十一月限は新米の最初限に直面せる相場として下鞘に發育するは勿論過去五ヶ年に於ける十一限の發會値段及び一代の値段又は納會値段等を比較して見ると

十一年（生値〈……〉高値三六、〇安値二五、〇）
十二年（……）
十三年（……）
十四年（……）
十五年（……）

で十一二年の百三十丁以上の下鞘であり殊に大正十四年の如きは三百九十丁も下鞘に發込まれてゐるが是れも其年に於ける値の關係と作柄の如何に依つて相違を生ずるものである

北海道の作柄
加賀卿氏の情報

目下北海道方面の米作視察中の加賀卿之吉氏からの情報によると同道一帶は近年稀な豐作で現存米も案外多い模樣であるから正米の出廻りも多く安値に取引されつゝあると

本年の作柄と今後の米界
須永氏談

朝鮮殖産銀行の主任として約六ヶ年間農事に從事せし須永氏は本年の作柄狀態に付て曰く「稻作は如何に出來榮が良好でも平年作より二割以上も增收する事は困難であると共に作付反別次第で其の限りにあらざるも本年は朝鮮一體は稻付面が少なくないし又全然稻付不能に終つた所もあるので私の觀測では先づ平年作より稍良好な程度ではないかと思はれ居る然し西鮮地方は稻付當時から水は潤澤であり從つて作付反別も著るしく増加して居る爲……總督府の產米增殖計畫に基く增收の模樣でも本年は七八十萬石増收の程度となつて居る筈であるから之れを加算すると二割以上の增收となり是を全鮮的に平均すると平年作より多くて一千六百萬石から一千六百五十萬石の收穫を見ないかと豫想されてゐる而して朝鮮の農家は安くても自己生活に安定を得たい場合には賣急ぐ傾向がある是が生産者の自己生活から來る賣物が數量的に多く……

各地下鞘見當

各地十一限の下鞘程度は左の通り
新甫十一限の下鞘程度は左の通り
▲大阪一圓▲東京六十錢▲兵庫八十錢▲下關同上▲桑名同上▲釜山一圓▲大邱七八十錢▲群山一圓四五十錢

るが何れにしても大下鞘は免れないと同時に此の十一限に對しては十限に於て既に大下鞘を豫込んで居るのと相場が早くも二十七圓臺に暴落せる際とて如何に豐作氣分濃厚と雖も先づ中限より百五六十丁下鞘程度のものでないかと云ふ說が尤も多い樣である

大阪納會市況

暗々底調頁、磯崎賣り近藤、小河吉武買ひ六十二錢と寄附き賣物に七十錢より七十六錢と上向いたが地場、東京筋賣り七十四錢より六十五錢と叩かれ嫌氣の投げに更に五十九錢と下押し利喰に六十九錢と投げ手詰めに六十八錢と大引

期米後場休會

本日は各地期米市場とも受渡の爲め後場休會

仁川各店俵合（單位百石）

中限賣方　丸イ四▲丸ウ三▲丸マニ
同買方　丸玉四▲金太五
先限賣方　丸ス四〇▲金太三三▲丸イ二七▲丸福二〇▲丸マ八
同買方　丸ウ七九▲丸玉四九

正米

期米安に
弱保合
大豆買氣旺盛

京城　期米の新市待に必需買のみにて寄保合丸キ等二九圓六〇……

仁川　丸キ肉チ三等二九圓……

大阪市中在米

現在高は百〇二萬八千八百八十四俵と前日に比較して四千九百五十二俵の減少

三十一日

鮮内延市場休會

各地延市場は受渡の爲め本日後場休會

京城穀物組合建値

▲外米　滿州物二三、五〇圓賣米二一、五〇▲……

大阪市中外棉相場

	前日比較
ストリクト九、十ミドリング月渡	二九三 三安
ブローチ同	二〇一二 十安
ペンゴール同	一八三 十安

一二、一〇臺灣一二、七〇四平商一一、六〇北滿物一一、三〇朝鮮一三、一〇▲小豆朝山物一〇、八〇滿洲物一四、三〇▲大麥（上）八、四〇北鮮物（上）六〇▲蕎豆（酉）一六、九〇▲胡麻三四、〇〇▲花子（朝）一五、九〇▲黍（滿）一二、七〇▲高粱八、七〇▲小麥（京城製三四下）一五、九〇裸麥（河）一三、五〇

横濱生糸休會

横濱生糸市場は當限受渡の爲め本日前後場を通じ休會

安東株式

	前日	昨日
鈔票 前場		
後場		

株式

つよきよわき

株式　相場はいよ〳〵出でいよ〳〵不勢、離勢はだん〳〵大きくなつて來た
△このまゝ潰れてしまへば踏損も形もなくなつてしまふ點であるが
△一層突き崩すつもりで一つブチこはしてしまふか、それにしても一部强氣筋がけ
△なまじなまなか、盛返かへて賣玄へて見たりするのはかへつて咎め着くしはしないか
米期　本府の三井筊師の話に

△成る程ゴム相は乾燥不十分でもよれば鮮米品種みの原因はゴム相だとある
△ふのだからそうかも知れない寛くムケ玄米に光澤があるといふ點も然し篩ぢる所は矢張り乾燥の如何に起すくもの である
△鮮に信用に影響する鮮米は中流州米などは昨年の十二月に入れしたものが篩麥を除く如は品痛みなんか氣にしたくてもなく稲つて取引も丸キ角井の四等米より二三十錢方高く取れて居る
△して見ると米は乾燥のいかんに拘らず乾燥を鮮重にする事が先決問題である

株式
又崩る
東新一段安

前場　依然不味な氣の市況で見送られ、五十錢と値の動いたものもなく閑散に引ける値比較▲京取同事▲大新四十錢安▲東新卅九錢安
後場　更に崩れ足がつき東新は遂に百三十三圓九と激落し大新亦七十一圓六の不勢極に大引

商況

綿糸布堅り

（京城）大阪三品休會、米棉安なるも米綿が品綿步調を續けてゐたので相場に響かず却つて淵騰氣勢、地方の賣行も良好

京城聯合會　三三▲一三三▲入荷二二〇▲金剛山二〇二▲長鼓二〇〇▲錦管一九〇▲裏錢一九〇▲双日一五八▲花龍一二九▲飛大一二一▲扇面一一七▲双女一一七

小麥低落

（シカゴ）九月限一弗三十八仙八分十二月限一弗三十八仙八分一五月ナシ
麥粉（京城）シカゴ安で相場低落鮮ダイヤ四圓十二錢見當

鮮魚

◇京城タイ三八▲小ダイ四二▲車エビ一〇▲小エビ四五▲カジキ四〇▲ヒラス二〇▲サバ一四▲サワラ一四▲ヒラメ一八▲タコ一七▲スズキ二二▲ハモ一八▲アワビ三二▲ベ一〇▲マナカツオ二五▲サヨリ三〇▲鮎魚一〇〇

株式（卅一日）
京取短期

銘柄	寄付	大引	高値	安値
京取 前	一三〇	一三〇八	一三〇八	一三〇三
後				
鐘新 前				
後				
大新 前				
後				
久原 前				
後				
東新 前				
後				
仁取 前				
後				
同新 前				
後				
安取 前				
後				
朝紡 前				
後				
三鮮新 前				
後				
京新 前				
後				

算定と日步

	算定	日步	代引
京取			
大新			
東新			
七新			

大株短期

	賣方	買方	建玉
京取			
大新			
鐘新			
東新			
仁取			
安取			

東株短期市場

銘柄	寄付	大引	高値	安値
大新 前				
後				
鐘新 前				
後				
久原 前				
後				
東新 前				
後				

銘柄	出來高	累計
安取		
朝紡		
東新		
京原		
久原		
鐘紡		

大株長期

銘柄	前寄	前引	後寄	大引
大新				
同新				
久原				
同新				
東新				
日紡				
鐘紡				
同新				

期米（卅一日）
▲仁川

	前場			後場		
	當限	中限	先限	當限	中限	先限
寄付	納會			休會		

東京 / 大阪 / 兵庫 / 下關

	前場	後場
當	止め	休會
中	止め	休會
先		休會

鮮内延べ（卅一日）

	前場	後場
止め		休會
先限寄付		

釜山　現物穀米（卅一日）

大邱　現物穀米

群山　現物穀米

各地の天氣
卅一日午前

東京	晴天	釜山	曇天
大阪	晴天	大邱	曇天
神戸	晴天	群山	細雨
下關	晴天	仁川	細雨
福岡	晴天	京城	曇雨

海外經濟電報

紐育銀塊　五九八仙八分
倫敦銀塊　二十六片四分一
紐育綿花　二十二仙四分
ネ倍 …
日米爲替　四十六仙一分六
ストレーツ錫　二百四十一磅十五志
メナゴン …

東京…

日銀帳尻（三十一日）

鮮銀帳尻（三十日）

夫池畑健二郎儀永々病氣療養中の處本日午前四時死去致候間此段生前辱知諸氏に謹告仕候

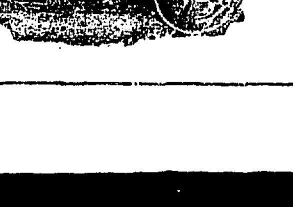
追而告別式は九月一日午後五時自宅出棺…寺に於て相營可申候

八月三十一日

妻　池畑チヨ
親戚總代　山田治郎造
牧山耕藏
友人總代　分島周次郎
大島勝太郎
北井清次郎
杉本信太郎
江藤德衞
降旗清三

最高甲位
最高位入賞せるもの
…

クボタ
石油發動機
最高第一位
燃料の一番少ない
出馬力の一番強大な



合名會社　忽那商店
釜山販賣部
京城支店
大邱支店
群山出張所
平壤出張所

天下ノ絕景金剛山
金剛飴

第二十期決算公告（昭和二年六月末日現在）
貸借對照表
…

京城日報

咸鏡北道古蹟名勝誌（三）

川口生

◇錚海府城趾　[illegible]城址の北方江岸にありてその址[illegible]探るを得べし、この地一帶は頗る[illegible]の地で南方には石[illegible]千[illegible]に聳え立ち北方には[illegible]ある[illegible]城[illegible]は巨人の腕をひらいて立つが如くそばだち[illegible]は一大[illegible]形をなしてその[illegible]を東北に[illegible]然して[illegible]は山道き[illegible]開けて[illegible]路[illegible]の大拉子に通ずるので往昔野人の往來した通路であつた。

◇[illegible]　又汗城時、汗王[illegible]などの名あり、[illegible]にあり、[illegible]の[illegible]この地方[illegible]汗王の兵馬を[illegible]つた所と傳へらる、山上に古城址あり[illegible]の土中より往々[illegible]を出す（[illegible]）

◇[illegible]　五國城址中に一池あり[illegible]と稱しその[illegible]に[illegible]あり[illegible]と大書した碑石を[illegible]へて[illegible]の[illegible]と稱すれども[illegible]

[illegible]接するに古來[illegible]泉を[illegible]と稱するを以て此の[illegible]頭の泉水に因せし名なるべく而て下部を移した後に建てた者であらふ[illegible]文字を[illegible]すれば[illegible]るゝ[illegible]に之を[illegible]なにて之を[illegible]する者もあつたが今は[illegible]の[illegible]に[illegible]し[illegible]中に[illegible]したので行はれない。

◇[illegible]　又[illegible]といふ[illegible]の[illegible]にあり山[illegible]の形をなし千ひろの[illegible]をなすこれに[illegible]れば[illegible]し[illegible]のかしこ[illegible]には[illegible]時[illegible]は[illegible]を[illegible]へてこゝに[illegible]び[illegible]の[illegible]り[illegible]死す今に[illegible]り[illegible]れだ[illegible]々として[illegible]の[illegible]を聞くと。

◇古[illegible]　[illegible]城北洞に女眞族の古[illegible]あり今も[illegible]その形[illegible]存す

◇[illegible]寺　五國城内の南[illegible]にあり[illegible]一人居るこの地[illegible]は古[illegible]として[illegible]したが一時[illegible]れて禿山となりしをその後植林を[illegible]して森林を[illegible]した。

◇[illegible]址　[illegible]にある元の[illegible]である[illegible]は[illegible]の[illegible]した[illegible]なるべし[illegible]川の[illegible]により[illegible]の[illegible]はあり[illegible]

[illegible]に[illegible]した[illegible]の[illegible]を[illegible]ふ。[illegible]忠信一日散步し一の非[illegible]城主[illegible]に至りしに[illegible]相[illegible]まりて非中に大蛇居るとて[illegible]り[illegible]ぐに向す、忠信之をうかゞふに蛇にあらずして劍である、即ち之を拾ひ揚げて熟視するに、刀弁に天子劍の[illegible]を刻しあり、[illegible]として[illegible]の[illegible]あり忠信[illegible]く[illegible]れて中原に[illegible]を[illegible]へしむ[illegible]が[illegible]ならん先づ[illegible]の[illegible]ちて[illegible]る後に[illegible]を[illegible]げんと、直ちに之を[illegible]時に[illegible]は[illegible]を[illegible]けて[illegible]を開き[illegible]中である忠信[illegible]へしと[illegible]も劍を[illegible]いて[illegible]に[illegible]斬らんとすれば[illegible]も劍[illegible]を[illegible]し汗の[illegible]として[illegible]忠信大に[illegible]して[illegible]告げ且つ曰、此の劍凡人の用ふべき物にあらず謹みて將軍に献ぜんと、汗其厚意を謝し部下に命して忠信の為に一肥馬に金鞍を具へて贈らしめた。[illegible]下は其肥馬金鞍を借み[illegible]るに忽ち一[illegible]を加へ奔馳飛ぶが如く[illegible]れ、[illegible]に至る[illegible]に汗[illegible]を知り[illegible]して曰、彼の[illegible]は[illegible]馬である、一日千里を走る[illegible]を得、我彼の[illegible]馬を[illegible]ひした[illegible]に中原に事を[illegible]さんと[illegible]り[illegible]は大[illegible]る[illegible]を正し日[illegible]に[illegible]に[illegible]らされば[illegible]に[illegible]れんと、[illegible]に兵を[illegible]げて[illegible]を[illegible]ふた、[illegible]め三年にして大[illegible]を[illegible]くるの[illegible]であつたに[illegible]の[illegible]を失つたので八個年を費やして漸く[illegible]を亡ぼし[illegible]を建設したなりと

◇[illegible]址　[illegible]は[illegible]と呼ぶ[illegible]近[illegible]洞と[illegible]洞の[illegible]城[illegible]にありその創立の年月つまびらかならず、或はいはく女眞の古城である[illegible]と、或はいはく[illegible]の[illegible]で[illegible]の[illegible]けられし[illegible]方と[illegible]

縱の為にこの[illegible]を[illegible]いた[illegible]である[illegible]と、[illegible]當時の[illegible]は[illegible]城川の上流から山乙下川の上流に出で川に沿ふて下つたのでこの地は[illegible]要な地點に[illegible]たつたのである。後[illegible]宗四年[illegible]乙下[illegible]を[illegible]に設くると共にこれを[illegible]して[illegible]に移したのであるといふ。

◇[illegible]　[illegible]山[illegible]の[illegible]嶺にそびだつ[illegible]の[illegible]で[illegible]の名[illegible]はこれから起こつた。

◇[illegible]寺　[illegible]五柳洞[illegible]洞の[illegible]谷山中にある古刹である[illegible]一人[illegible]

昭憲皇太后御歌　女子十二徳

節制
花の春もみぢの秋の[illegible]もほどゝにこそ酌まゝほしけれ

清潔
白妙の花の[illegible]は[illegible]へともちきは心の[illegible]なりけり

勤勞
みかゝずは玉も光はそはさらな人の心もかくこそあるべき

沈默
過ぎたるは及はざりけりかりそめの[illegible]も[illegible]ちらさゝらなむ

[illegible]
人心かくそあるべき[illegible]の玉たまは[illegible]にかくれざりけり

[illegible]
とりどりに作るかざしの花よりも[illegible]ふ心の[illegible]をぞ思ふ

温和
[illegible]るべき[illegible]には[illegible]も[illegible]とを[illegible]ひてしがな

[illegible]
[illegible]れをも[illegible]にうつして[illegible]への[illegible]にゆく[illegible]心ともがな

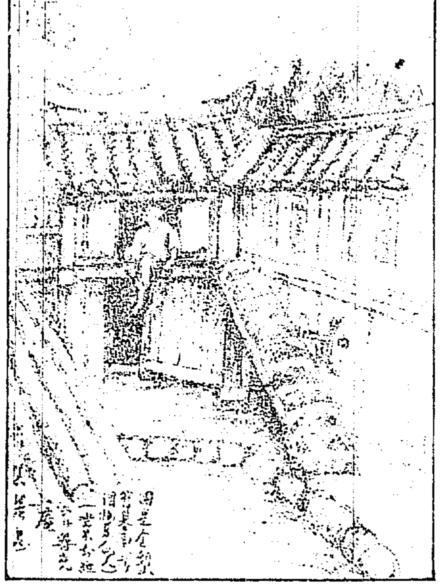
[illegible]
[illegible]ふかき[illegible]にも入らむ物ごとの始め[illegible]りの[illegible]もさゝせば

[illegible]
[illegible]竹は[illegible]を[illegible]へすは[illegible]末の[illegible]に[illegible]れさらまし

正心
[illegible]にふれ[illegible]はいかざさにくたくとも心はゆかたにたすよしもがな

かへり見て心に問はゝ見ゆべき[illegible]を正しき道に何まどふらむ

西村箕琴氏筆……[illegible]



槿域訪書談……【七】

稻葉君山

[illegible]宋の[illegible]は、日本の[illegible]を作り[illegible]行時[illegible]來、[illegible]今尚存、令[illegible]、[illegible]古文、先王大典[illegible]、[illegible]、令人[illegible]、[illegible]刀何足の[illegible]がありますが、これは、太宗の太[illegible]、日[illegible]、[illegible]一卷、[illegible]一卷を[illegible]に、支那[illegible]の多く存する旨を[illegible]つたことに[illegible]あるのでせう。こちらには、やゝおくれて高麗の[illegible]時代に、宋の[illegible]より[illegible]の[illegible]を[illegible]出して、[illegible]となし、これを[illegible]へ寄せてゐます。この[illegible]は、日本には向けられてはゐない。高麗は、日本とは違い、宋[illegible]でしたから、まづ[illegible]を[illegible]ものでせう、日本[illegible]の[illegible]に[illegible]されたのかも存じません。[illegible]の[illegible]、[illegible]など[illegible]へ[illegible]はりましてから、いよいよ[illegible]の日本[illegible]から、[illegible]味を加へて來たわけです、[illegible]などは、すでに[illegible]を日本に[illegible]めんとするの[illegible]を述べてゐたものです、それが、[illegible]の[illegible]に、および、[illegible]の[illegible]となりて[illegible]の[illegible]は、[illegible]き[illegible]などを[illegible]ひ、[illegible]に[illegible]も[illegible]の一人であり、今では[illegible]

[illegible]の日本[illegible]をあさりました。[illegible]の[illegible]は、その一部を[illegible]したものゝすし、[illegible]は、日本[illegible]の[illegible]があります。わが[illegible]には、こうした[illegible]は、[illegible]し得ないものでせうか、[illegible]に述べた[illegible]の[illegible]史の[illegible]ときは、[illegible]らくは、[illegible]に[illegible]少であり、或は[illegible]であるかも知れない、そうした[illegible]を[illegible]して、[illegible]を成すことが可能であつたら、[illegible]文化の[illegible]を[illegible]へる上において、一個の[illegible]ともみられやう。

わたくしは、こんな[illegible]へからして、[illegible]の[illegible]は、その[illegible]て、[illegible]たると[illegible]を[illegible]はず、[illegible]を向けてゐます、[illegible]の[illegible]いてゐます、[illegible]の[illegible]は、[illegible]に[illegible]

[illegible]でゐられますが、[illegible]折り[illegible]して、その[illegible]を綜合するに、[illegible]地ほどにはゆかずとも、[illegible]の[illegible]を[illegible]げらるべしとの[illegible]を得たやうの次第です。しかし、この[illegible]の[illegible]には、支那[illegible]に[illegible]して、いつもわれらは一[illegible]を[illegible]する。[illegible]の[illegible]は、すでに[illegible]により[illegible]せられ、[illegible]は、これを[illegible]にて[illegible]してゐます。この[illegible]は、今をへだつる五六十[illegible]の[illegible]です。たゞわれらは、[illegible]することは[illegible]しません、今より[illegible]して、この方面に努力せば、かなりの[illegible]を得らるゝでせう、この方面に[illegible]しての、[illegible]の[illegible]を必要とするのみです。[illegible]の[illegible]は、[illegible]に[illegible]

[illegible]かること[illegible]く、[illegible]になつてから一[illegible]して見へますが、しかし、其内容の[illegible]といふことは、[illegible]に支那[illegible]に[illegible]るものあることを知らなければなりません。[illegible]は、まことにすぐれたものです、それによるに、[illegible]は、先[illegible]の手に[illegible]せられたといふ、しかもその[illegible]に、[illegible]、[illegible]、[illegible]が、[illegible]より[illegible]の[illegible]を[illegible]たことにはじまるといつてゐる。[illegible]に、[illegible]石[illegible]の[illegible]があつたはず、その[illegible]を[illegible]りたいものと[illegible]つてゐます。[illegible]の[illegible]名人[illegible]は[illegible]に[illegible]や[illegible]、これ又[illegible]されるのです。（完）

支那時局の解剖（中）

宮地貫道氏談

それから今の[illegible]の事務所そ[illegible]れからボロヂンの上海[illegible]、それに次いで[illegible]、これは[illegible]十三年一月十三日、それから大正十三年一月十五日[illegible]と[illegible]との合[illegible]の

露國から援助

を受ける方[illegible]は[illegible]と[illegible]の合[illegible]とい ふのが[illegible]にきまつたのであります。あの時であります。一方のあの共産[illegible]と[illegible]とが合[illegible]をやるならば、[illegible]にも合[illegible]をする[illegible]に[illegible]に[illegible]を[illegible]んに[illegible]は[illegible]と[illegible]との合[illegible]することになつたがさてどういふことを[illegible]けにするか、[illegible]をするか、これは[illegible]に[illegible]であります。その時に

共産黨の方が

申し出た[illegible]は[illegible]と[illegible]も[illegible]をし、共[illegible]は[illegible]も[illegible]らない、それから[illegible]の力も支那人の力がたりなかつたならば力をお[illegible]し[illegible]いふが、しかし[illegible]は他に要求がありましたそれは[illegible]と[illegible]だけは私の方へ任して貰ひたいといふのが要求であつたのであります。[illegible]の[illegible]へのある人々にはそれはいけないと[illegible]、[illegible]の[illegible]は[illegible]と[illegible]で[illegible]から、これを共産黨に任せるといふことはいけないと

反對を致した

のであります。しかし又一方にはそんなことはどうでもよろしいじやないかと[illegible]を[illegible]へあれば[illegible]はよろしい[illegible]やないかいや不可ないと[illegible]まへば[illegible]をどうにかなる、今の内に[illegible]を利用して今の内に統一してし[illegible]反對をしたのでありましたが[illegible]その要求を入れたのであります。

見ゆる方面に

わたりて活動をなしたのであります、これが孫文の第一[illegible]であつたのであります。しかして兵力がなければならない[illegible]どうしてもこの[illegible]の[illegible]ができない、[illegible]で[illegible]およそ[illegible]び[illegible]學校の[illegible]、これが一番[illegible]分として必要條件であるといふので四月に[illegible]より[illegible]することになつた[illegible]石氏が[illegible]となつて[illegible]學校といふものが[illegible]されたのであります、[illegible]これで[illegible]しいとして[illegible]、[illegible]方面はどうかと[illegible]に[illegible]之が廣東政府の[illegible]であります、それで[illegible]氏が[illegible]長となり、[illegible]氏が[illegible]長になりました、かくして共産黨と國民黨とがかういふことになりましたそれで[illegible]、[illegible]に[illegible]することはまかしたのであります

併し之は最初

よりの約束を行ふたのであります。それから大正十三年七月[illegible]の[illegible]があつた。それから十一月一日になつて[illegible]を解散することにした時によつて初めて[illegible]學校の[illegible]を使つたのであります。しかしその後又[illegible]が十四年の三月に[illegible]が[illegible]んだのであります、[illegible]の[illegible]が攻めて來たその時に[illegible]を何とかしたいものだと思つてゐたのでありますが、[illegible]の[illegible]であつたのであります。その時は

軍監學校には

三千人[illegible]の[illegible]が組織されてゐたのであります。その當時のことを[illegible]しく申上げなくとも皆さんが御承知のことゝ思ひますが、[illegible]における[illegible]の[illegible]な[illegible]は[illegible]の[illegible]ではなかつたと思ひます、[illegible]にこれは[illegible]が[illegible]の[illegible]を[illegible]で[illegible]つて十四年[illegible]はかくの如く[illegible]的の[illegible]を[illegible]で[illegible]々として[illegible]の努力が[illegible]くなつて來たのであります。

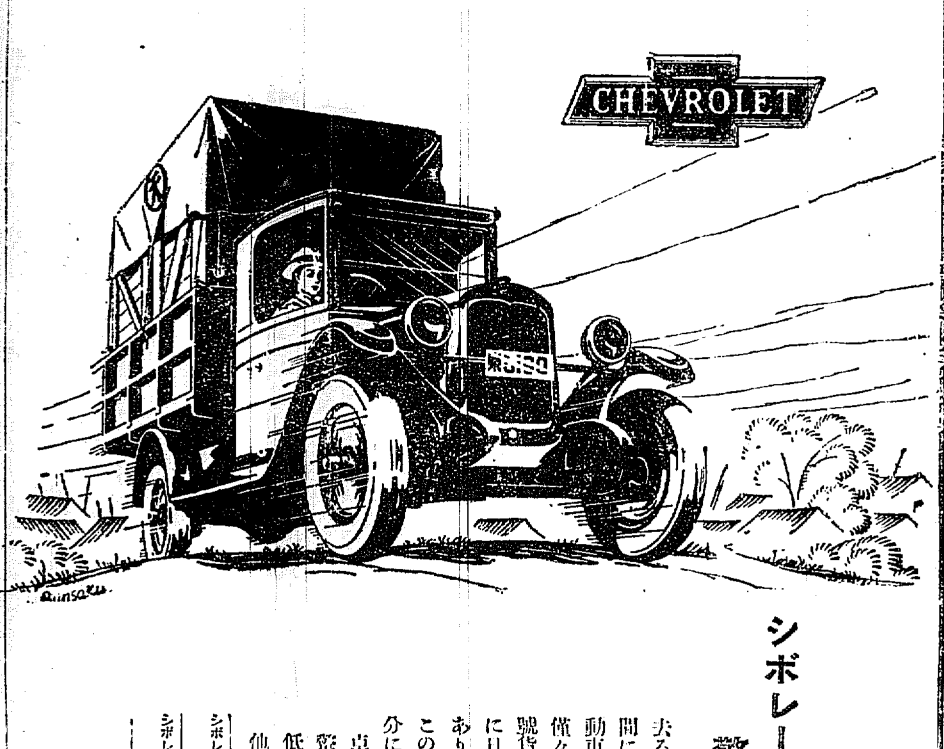
官廳用品の國産化か

商工省で準備

[illegible]は[illegible]に[illegible]に[illegible]の[illegible]用品の[illegible]はすでに[illegible]しい[illegible]に[illegible]されてゐるが[illegible]の方針を[illegible]め[illegible]く[illegible]の[illegible]となつた[illegible]も[illegible]に[illegible]は[illegible]において[illegible]の[illegible]にわたつて[illegible]を[illegible]すべき[illegible]となし、[illegible]の[illegible]に[illegible]、[illegible]における[illegible]について[illegible]くつまでも[illegible]せやらしたがその[illegible]の[illegible]について[illegible]の[illegible]をはまづ[illegible]に[illegible]せしむる[illegible]となり[illegible]と[illegible]にしこれが[illegible]を[illegible]ねた[illegible]としては[illegible]と[illegible]られた[illegible]より[illegible]品を[illegible]しうる品目の[illegible]を[illegible]め[illegible]においてはその[illegible]を[illegible]する[illegible]が[illegible]な[illegible]をなしその[illegible]に[illegible]してもこれが[illegible]については[illegible]の[illegible]において[illegible]な[illegible]を[illegible]る[illegible]であるよつて[illegible]を[illegible]とする[illegible]では近く[illegible]から[illegible]品目一[illegible]の[illegible]を求めこれが[illegible]の[illegible]に[illegible]用品に關する協議會を開き[illegible]をなすはずである

種の話

心臟の鼓動を放送することはかつて我國で試みたことがあるが今度また維納放送局でも同じ試みをやることになつた▲即ち同放送局では[illegible]中に同國で有名な[illegible]の大家シュメンズキー博士を[illegible]は[illegible]して[illegible]を放送するが同博士はその講話の中で[illegible]心臟の[illegible]にかゝる[illegible]へこれは博士の[illegible]にかゝる[illegible]を用ひて『女の心臟の鼓動』を放送するはずだといふ▲しかもその女が若く美しいといふので早くも[illegible]ふり立てゝゐる。



シボレー號貨物自動車の驚くべき大賣行！

去る四月から七月までの僅か四ケ月間に千三十六臺のシボレー號貨物自動車が日本國中に賣れ行きました。僅々百二十日間に賣れた此シボレー號貨物自動車の數は、昨年一ケ年間に日本で賣れた總數の三倍半以上であります。

この刮目すべき成功は左の理由で十分に説明されます。

卓絶せる品質的價値
驚くべき運轉費の節減
低廉なる原價と維持費
他に比類なき多種多樣なる用途

シボレー半噸積コムマーシャル・シャシー　金壹千五百貳拾五圓也（大阪渡）
シボレー一噸積トラック・シャシー　金壹千九百貳拾五圓也（大阪渡）

日本ゼネラル・モータース株式會社
大阪市港區鶴町一丁目

科學的經營に依る合理的發展

大正九年の財界動亂、十二年の大震火災にビクともせざりし如く今次の財界恐慌に於ても何等の痛痒を感せず

契約優良資産充實

年度	年末契約高	年末資産	利益金	保險契約者配當金
大正六年	一七、四六〇	二、七一七	五四	二七
同七年	二一、一〇四	三、四〇六	七〇	四一
同八年	二三、四〇六	三、四三八	九六	六四
同九年	三七、二〇六	四、三〇六	一五二	九六
同十年	三二、六七六	五、五三一	一五二	三二
同十一年	四二、六六八	五、〇八五	一四三	七二
同十二年	五五、〇三三	七、〇八五	二二四	九
同十三年	六〇、二一九	九、七〇五	三三四	一四
同十四年	六七、〇四七	一一、四八七	四四二	三〇八
昭和元年	七三、〇〇三	一三、一六三	五四二	八〇

（単位千圓）

終始一貫堅實主義

太陽生命

高率なる利益配當の實際提供

舊利付契約（毎年現金配當式）
年拂保險料に對し　最高（大正一年契約）三割九分　最低（大正十四年契約）一割五分

新利付契約（毎五年保險金増加式）
保險金千圓に對し

	最高	最低
四年經過の契約	五十三圓	十ノ圓
三年　同	四十一圓	十三圓
二年　同	二十九圓	八圓

右は假定の豫想表にあらず、大正二年以來引續き實行し來れる實際の數字なり

本社　東京市京橋區南傳馬町二丁目
太陽生命保險株式會社
支社　東京、大阪、名古屋、仙臺、福岡、京都、廣島、金澤

開業廣告

Buick　CHEVROLET

新荷到着

最新流行乘用自動車ノ精華ヲ聚メタル

シボレー
オールヅモビル
オークランド
ビユイック
ポンテアク
ラサール
カデラック

實用堅牢無比ノ貨物自動車
シボレートラック
ジーエムシートラック

是非ビユイック及びシボレーの御愛用を御願ひ致します

日本ゼネラルモータース株式會社
朝鮮總代理店
京城自動車商會
假營業所京城長谷川町五八電話長七七六番

朝鮮總督府專賣局製
參精
京城本町二丁目　一手販賣元　貴生堂
電話本局三六八番・振替京城二七二六番

渇仰禮讃の的だつた朝鮮博も愈よ閉會
朝野の名士多數を招いて盛大な閉會式を擧ぐ

【東京特電】國家的大事業として當局並に官民の渇仰禮讃の中心となつた京城景福宮に於ける我社主催の朝鮮大博覽會の光輝ある閉會の幕をおろす日は來た。昨日の雨は名殘なく霽れて今日はこの榮ある最後の日を祝ぐかの如く朝晴はしき秋空となつた。事務局員は今日限りと極度に緊張して早朝から閉會の準備に忙殺される、午前八時前後から朝野の名士は續々と自動車又は俥で會場に到着、接待員の案内で式場なる品評會場へと入る。かくて豫定より卅分おくれ煙火の合圖に從ひ嚴粛な閉會式ははじめられた

＝閉會式＝　開會にあたり［illegible］式場正面に上り、博覽會の成功と經過について左の挨拶をなし、次いで會長副島伯爵は起つて嚴肅そのもの、態度で左の式辭を朗讀すれば、式場は水を打つたる如くに靜まりかへる。續いて佐藤總務長官に進み總督に入り總督をうかがひ博覽會の成績について報告をなし、次いで來賓の祝辭に移り、大毎社長の祝辭あり、その總監代理、［illegible］政務總監［illegible］局長その他諸名士よりの祝電祝辭の披露をなし、出品入選授賞式の盛儀に移りたる後、社長は一同の起立を待ちて三陛下の萬歳を三唱、全員これに和し、朝鮮博および京城日報社を祝福する、かくて佐藤理事の閉會の辭に記念すべき式は滞りなく終つた。事務局は來賓一同に對して記念品を贈り嚴々接待に努めた。

副島會長式辭
京城日報社は國技館と共に主催したる朝鮮博覽會は本日を以て盛況裡にその會期を終了せんとす。そもく朝鮮博覽會はその目的とする所、朝鮮を内地に紹介して内鮮融和の實に供し以て朝鮮經濟に貢獻するにありしが故に、從來の博覽會とは聊かその趣きを異にし朝鮮の物產の出品の外に或は歴史、或は風俗、或は又風景等の諸面をあらはし極めて通俗的に且つ民衆的に設計せられたり。此の故に鮮内各方面の人を網羅せる七十餘萬の觀客に多大の滿足を與へたり。本年上半期における帝都の國勢及び活動寫眞館の人場者の數が昨年同期に比し各數十萬人減少せる經濟の惡化を見て、主催者は我博覽會の成功に滿足せざるを得ざるなり。終りに臨んで京城日報社は國技館の幹部が三ケ月間に亙り、同館及びその主要の材料を無料にて提供し、且つこの比較的狹隘なる館内に入博覽會を企畫經營されたる勞を謝し、ここに同館の隆盛を祈る。

入間川副會長挨拶
朝鮮博覽會閉會式を舉行するに當りまして一寸御挨拶を申し上げます。本日は總務の折納殊に御多忙中にも拘らずかく多數に御來臨を忝うしましたる事は實に本會の光榮とし且つ感謝する所であります。新らしき榮光に輝く朝鮮の產物を內地に紹介しながらこの館内に展開して朝鮮を紹介し内鮮融和、産業開發の上に貢獻いたしたいと存じまして過る七月一日開會以來、折悪しく財界未曾有の不況時に際しながら豫期以上の好成績を收めここに閉會を告ぐるに至りました事は主催者としてこの上ない滿足を感ずる所であります。これ畢竟もなく各位の深き御同情と厚き御後援の賜物である事は勿論でありまして、ここに改めて感謝の意を表する次第であります。終りに臨まれたる朝鮮の上に、又御來賓の上に、いやが上にも多幸多福ならん事を祈つて止みません、一言御挨拶を申し上げます。

本山大每社長祝辭
閉會以來江湖内外の賞讃を博せし朝鮮博覽會は本日を以て無事閉會となる。會期數十日に長しと云ふにあらず、而も豫期以上の好果を收め得たる［illegible］へざる次第なり。内鮮融和の聲を聞くや久し、されど事實は往々にしてこの事の容易ならざるを思はしめたり。思ずるにこれ内地人の朝鮮に對する理解の淺少なるによる、吾人は理解せんとするの努力に於て缺けたるものあるを見る。［illegible］るものあり、和合一致は當然の歸結にして兩者ともに念とすべきの事に屬す。［illegible］を期し難かりしは偶發變災の謂なりしによる所あり、［illegible］央に規模を大にして生きたる朝鮮の縮圖を再現し、以てこの實態、習俗等を展觀せしめて朝鮮の實を知るに便ならしめたり。この企圖や實に時宜に適せるものと云ふべく、内外人の朝鮮を紹介し内鮮融和の上に一歩を進めたるの功績は甚大なりといふべし。今後に於ても益々朝鮮文化のためこの努力を持つや切なり。一言蕪辭を述べて成功を祝す。

總督、總監祝電
宇垣總督代理並びに兒玉政務總監は本紙主催の朝鮮博覽會の閉會式に對し關係者長あてに左の如き祝電を寄せた

殖産局長祝電
朝鮮博覽會が豫期以上の盛況を以て終始し、將來朝鮮の産業開發上貢獻する所大なるは慶賀に堪へず、閉會式に當り祝意を表す。

けふを限りと觀衆の雜沓
相變らず福引は大人氣　閉會の日の朝鮮博

【東京特電】閉會式を終つた朝鮮博は豫定通り卅一日午後十時を以つて靜々しく最後の幕を下したが前日の大風雨に祟られながらも當日は最終の名殘を惜しまんと殺到する人々で場内は身動きも出來ない程の盛況を見せた今日限りに閉會される

博覽會　の光榮とは思へぬ位活況に溢ちく、たものでわけても福引は自然人氣を呼び午前中に反物を引當てた者が卅九名もありその幸運者が揃ひも揃つて直に突入勢だつたので場内では大喝采となり續いて金時計時計をさては腕時計などは引切りなしに出るので、その度にどつと歡聲が湧き上る等公の熱心は今日を名殘りと喜びの

三陛下も御歡祷　けふ震災記念日に

【東京電報】九月一日は關東大震災記念日として天皇、皇后、皇太后三陛下は午前十一時五十八分を期し暫し御黙祷あらせられて當時の御事を御追念あらせられ殉難者の英靈を御慰めあらせられる由である

昌徳宮　の金融館では鯛子や缺氷太夫は腰も折れよ喉もさけよと最後の奮闘を續けてゐるのが……御陵の靈を拜して更に本日も捧げ……相並んで……慰めらる……

もいじらしかつた飛行機はスケート館でも二ケ月間飛行機は續けた……心なファン達がひき［illegible］をふるつてゐる中には今日限りだ……終日に心ゆくばかり滑走してゐる……生きもあつた此の國の内外の見物人……に羽がはえて飛ぶ様に賣れるので……こんなにうれた事は初めてだとほ

大正帝御陵の玄宮工事成る
御陵工事中重要なもの　完成は明年の末

【東京電報】大正天皇の御陵、とはに鎭まりますお陵の工事は去る五月起工し玄宮は殆ど内部造營においてその他の工事は、澄み拜みその際殿の下に基礎工を急いでゐるがいよく玄宮の工事はコンクリート工事は三十一日を以て完成をつげる事となつたこの工事は御陵中央部五間の玄宮工事で御陵工事中最も重大な工事で、このコンクリートの上にはさらに土をしきつめ上に御陵下方の御陵の工事も完成するのは昭和三年末の豫定となつてゐる

早廻り機
「ベルグラード卅日發聯合」國際飛行競技の際ベルグラード間往復をデトロイド號は排日ベルグラードに不時着陸……

外交後援會が排日の示威
過般の運動に倣ひ大々に決行する

【奉天三十一日發】遼寧の外交後援會の各機關の急所に合大會は一日開催されるが先般一日にも市民大會を開き出で……よりは代表として李公仁氏が出席……の集會に於て市民に排日宣傳をなし……四日には奉天總商會總商會との名目で排日示威運動を行ふもの……これには上海に於ける過般の排日運動に倣ひ續々張り提灯と行列……等を持って市中を示威運動を……

日本の撤兵は支那の疑惑を一掃
滿蒙交渉にも好影響か　むしろ意外に感ず

【北京三十一日發】日本の山東撤兵は支那側に非常の好感を與へたもので、日本政府の當局……當方の誠意ある態度に對し支那の支那側は……支那側に非常に驚嘆をもつて迎へ更に日本の外交に好意を向けられてゐる際、寧ろ日本の誠意に感激したため、……むしろ意外に感じ、たなほ滿蒙交渉も有利な……と、……られてゐる

大事業
……の一が事務局では……が當の支障もなく終了したといふので社長を始め各幹部連は顏を見合せてお目出度うと大にこく……かくて京城市民達に名ごりを惜まれつゝこの意義ある大壯舉は目出度く最後の幕を下した

初鷹丸て現場捜査
何等の收穫を得ず

【東京電報】三十日農林省漁業監視船初鷹丸が五島沖より美保ケ關に來り難後二回にわたり相當嚴重に綿密におよんで所屬現場附近を中心にトロール網を曳いたが引揚たのは泥ばかりで何等收穫がなかつたがなほ四、五日作業を續けると

陪審員の資格調査成る

【東京電報】來年秋から施行される陪審法の陪審員の資格者名簿はいよく九月一日現在にて作製される事になつた、該陪審員を除き全國で二百五十六萬八の多數に達して陪審の資格調査が行はれた、資格者の尤も多いのは矢張り東京府の……を單位とし他は市町村を單位として約十五萬八に達してゐる

商品見本市
大分縣商品陳列所主催の商品旅商隊は九月一日より二日間毎日午前九時より京城商業會議所において商品見本市を開催することになつた因に旅商隊一行は本知火旅館に止宿してゐる

奉天省の商民調査
嚴重取締りのために

【奉天三十一日發】三十日奉天省長は各縣知事に對し近來各地における日本商民は續々増加しつゝあるがこれ等日本人は本國において生活困難のため多數は低級商品を取扱ひ若しくは密輸に從事する者で今後日本商民に對しては嚴重に注意すべく現在管内居住の日本人氏名、男女別、職業、戸數、來住年月日など詳細調査の上報告せよと命じた

此の三項を先決條件として
日本の滿蒙策について支那側の對策

【北京三十日發】大元帥府は日本の滿蒙提案討議のため二十九日緊急會議を開き、外交部から左の三項を先決條件として提議すべき事を決議しこれを決した
一、支那の關税自主承認
二、日支條約は平等五惠の精神により解決す
三、治外法權の即時撤廢

本溪湖事件又蒸し返しか
謠言しきりに起り不安全市を鎖す

【奉天三十一日發】本溪湖事件は其の後緩和に傾き……は一時下火になつたとばかり伝へられてゐるが……その後本溪湖方面には再び危險な謠言が……に傳播するとともに市場の……なる……小十七名が……所に十七名が逃亡……名も……家々は……で家々……あるが偶然にも危險を逃れたものらしく又々邦人住宅を襲撃する等の謠言が頻々に起り人心は不安に閉ざされてゐるなほ昨夜同地に市民大會を開き各地より多數の應援隊士出……を掲げた

營口油房一齊罷業
共産派の煽動によるか

【營口卅一日發】營口支那油房の職工、職員、販賣の各從業員六百名は卅日夜九時半より一齊に罷業を開始した原因は不明であるが從來賃銀を奉天票にて支給していたが奉天票下落のため現大洋銀……

鐵道協會
聯合委員總會

朝鮮鐵道協會では第一期事業として朝鮮鐵道網計畫の實現に成功したので、第二期事業として經濟界爲替の問題を調査研究することになり十部にわたる委員會を設置したが、その第一回各部聯合委員總會を三十一日午後五時より朝鮮ホテルで開催し、出席者は大村鐵道局長、間島朝鮮銀行總裁、米田京畿道知事その他六十餘名に達した、先づ松永部長の開會挨拶後、大村會長より各部の調査研究に對する希望としてまた協會としての立場を述べ、次いで戸田理事より調査研究の目的について説明あり、これに對して大和與次郎、富田儀作、後藤連平の三氏より希望の開陳あり一同晩餐を共にし同八時散會

寶光線免許さる

【東京電報】南朝鮮鐵道が敷設許可申請中の寶城光州間三十五マイルは今回遞信省より免許されたこれで同社の計畫路線は百六十七マイルとなつた譯である

下旬貿易各港別

【東京電報】（大藏省發表）八月下旬諸外國貿易概況左の如し（單位千圓）

輸出		九六、六七
輸入		一〇四、六四一
計		二〇一、三九九
入超		七、九七五

を示し前年同期に比し一千七百十九萬一千圓の著るしき増加となる、しかして一月以降の累計は
出超 ［illegible］一、三二九

孫傳芳軍續々長江を渡る
さらに津浦線から大部隊が南下す

【上海卅日發聯合】外國人側の消息によれば卅日以來南京附近に渡河した孫傳芳軍は南軍の逆襲によりて大打撃を受けたが依然渡河を企ており一部はなほ揚子江の南岸にふみ止まつてゐる、一方津浦線大運河に沿ひ大部隊が南下中で浦口を目標にしてゐるから同方面の形勢は南軍側の憂へる程簡單のものでない

物價會議を北京で
日本委員は加藤書記官

【東京電報】曩に上海で日英米佛各國商務官と支那側委員とを以て組成されてゐた上海物價調査委員會は今後北京に移して開く事になつたので日本委員として公使館より加藤書記官が出席するである筈

三紡續も總罷業
連絡の點で重大視さる

【營口三十一日發】營口三紡續工場從業員四百名は三十日午後九時半より一齊に罷業を開始した原因不明であるがやう要求し罷業されたものと見られ兩者に共謀の點ある疑ひあり

沙市の銀行錢莊閉鎖

【東京電報】（沙市三十日發聯合）當地は平穩であるが銀行錢莊は全部閉店し一般商店も殆ど同様である、但事業休止出廻り期とて不況ではないが何らの要求もないが兩者聯絡ある點より重大視してゐる

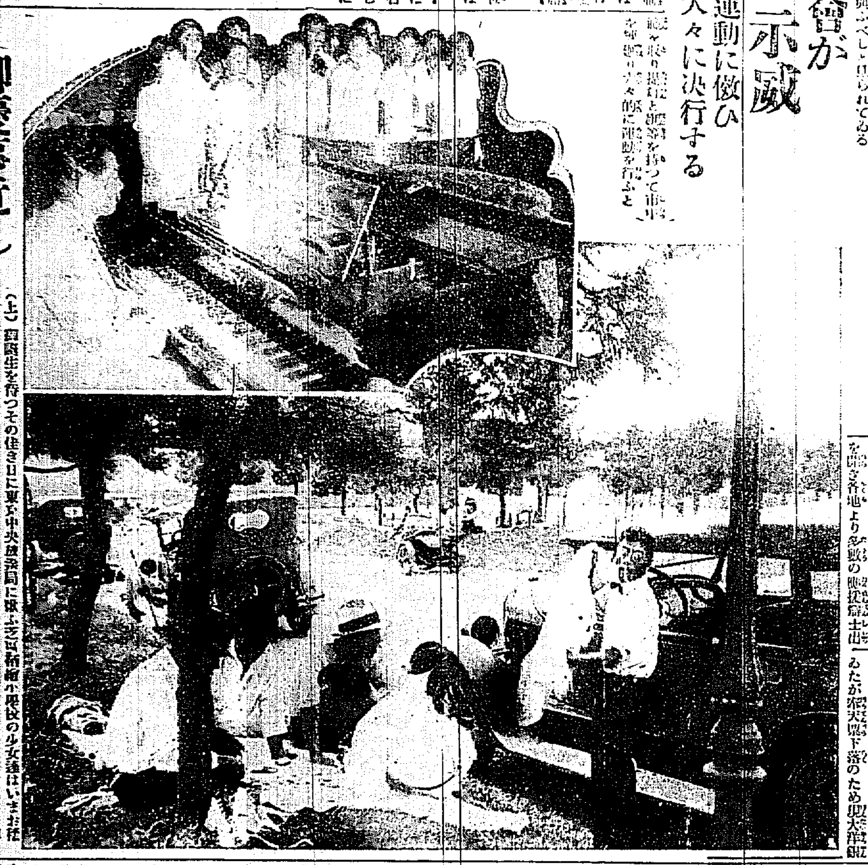
輸入		
輸出		一、〇五九
入超		四三、六九

十一萬圓に比しては約六十萬圓にしか當らぬ著減を示した十三港別内譯は左の如し

	輸出	輸入	出超
横濱			
神戸			
大阪			
長崎			
門司			
函館			
名古屋			
四日市			
清水			
鹿兒島			
小樽			
若松			
下關			

御慶事近し

に天晴な皆天井、國際市の盛況をもまつ、中々繁でないぞ



（上）御慶事を待つその住きは東京中央放送局に寄ふ大阪府商会小照代の少女達はいまだ指古によつて行きの際を張り上げて練習して居る（下）赤坂御所前だ、一寸見たところ運轉手連のサボりの姿だが、實は新聞記者連の控室――つまり張り込みである、御慶事は近い天下……

人
○李鍵公子　一日夜京城發列車にて東上
○ヒューブナ博士（ペンシルベニヤ大學教授）夫妻は三日奉天發四日朝入城
○賀屋興宣、松崎正雄、鹽田太市（大分縣中外商業會議所）三氏は卅一日米釜し
○香椎源太郎氏（釜山商業會議所會頭）卅一日午前十時總督府に出頭總監其他を訪ひ釜山に於ける重要案件につき陳情
○西武三氏（神佛常務會長）廿九日入城、內鮮協和會內

茶話
▲わが社主催の朝鮮博覽會はきのふ卅一日を以て閉會をつげる▲九月一日はわが社の卅一周年だから此の記念事業は博覽會を以て掉尾の勞を採ふたものとすることが出來る▲朝鮮博が朝鮮紹介の上にどれ丈役立つかは自ら自讃するを要せぬ▲これを今後に敷衍すると事が出來るといへる▲何のかの足らぬアタマで見らぬウワ言は聞きたらもないが▲朝鮮の實業名士が贊助の其鳴をしてくれたとは▲茶話子ある總の讃佳上あらためて感謝のことばをさゝげざるを得ない▲米國の事情の一聯想、ラヂオを六ケ月試験してゐたが、こんど轉任でラヂオ受信機を出したが、放送局は加入届けが出てなかつた▲届けて居たつもりだが思ひ違ひでした、濟ませんとて▲廢止届けにつけて十二圓の聽取料を放送局へ▲穩然してゐるそこらあたりをラヂオファンに聞かせたい話

鮮銀理事第一候補松原氏

【東京電報】朝鮮銀行は三十一日午前十時臨時總會を開き理事候補者として松原純一、第二候補石黒英彦、第三候補の名を決選の結果左の通り當選した
第一候補松原純一▲第二候補石黒盛八

魚市場合同決議

京城府當局と關係諸團との間に於て京城府と魚市場の合同問題は兩京三の九三魚市場の合併問題は兩京三の兩市場委員と直接交渉者たる馬野府尹との間に歩み寄り漸次話纏まり兩方の意見も一致し三十一日を以て府協議會にて可決され元來本合同の理由……ものとなつたが元來本合同後はすることとなつた

朝鮮米作改良意見
田所博士談

米の研究の權威者田所博士は群山に於て次のごとく述べた
朝鮮の米作に就ては今改善意見を述べるまでに私の研究は進んで居らぬ、二三年待つて貰ひたい、併しこれではないかと云ふ點を云つて見ると次のごとくである
一、朝鮮には軟質米が適當だが土地氣溫の關係に反して關西、四國、九州等の南の地方に適する米を作る嫌ひがありはせぬか硬質米と軟質米の栽培自ら相違する處がある或は又朝鮮の米作に於ける大事な時の氣溫が前肥の關西地方に相當することと米作中の日照時間が東京などに比し四割から多いが一日間の氣溫の高低も甚だしい節必ずしも氣溫の高いのみを以て云ふし得ない處もあるが更に研究を要する點である。一日間の氣溫の高低の甚だしいことは内地の高冷地方の特徴に似て居る
二、朝鮮米は赤米と稱する程味い東京の米商はこの味を利用し軟質米は酒米に好適でない赤米の混合がーつの特殊の技術となつて居る位であり且つ酒造米に最も適當するこの點で朝鮮の米作には酒造家の意見を參酌し米作に關係して質が良いことである。理想として朝鮮米の名を脱し酒米と云はれる程にあつて欲しい
三、合理的栽培增殖の限界を究する必要がある
米はその品種に向つて適地と不適地とがある適地に適種を作り合理的經濟的に栽培する必要があることは云ふまでもないこの點で全南の小町は既に目下研究中であるがこの外にも研究を要するものがあると思ふ成品は合理的栽培増殖の限界を越へるとまづ粒精が小くなり青米が增加する、これなど普通農家にも知り得る現象である
四、米には直播がない、シベリヤでもなし得ると云ふ程であるが、その土地の氣候風土に順應して品質が變化し易い、云はゞ米には直撃がなく、その品質が土地に依つて變化し易いからこれに注意する必要がある
次で肥料に就ても語る處があつたが、内地に於て劣る肥料に同様に起も沃績に於ての化學的肥料が知られることは危險であると述べこれは單に肥料のみの知識でないことも附け加えた。

八月下旬貿易
出超二千三百萬圓

【東京電報】大藏省發表の八月下旬對外貿易は左の如し（單位千圓）

輸出		六四、七二〇
輸入		四一、七七一
計		一〇六、四九一
出超		二三、九四九

經濟

に於ける經營は府としては蜃地營業所を合同會社に讓渡する程度に止め會社自體を一て經營せしめるものであり從つて合同に對する各社の資產及米穀料等の評價は甚だしく不當でない限り各社の認定に委すが至當であるとの意見もあるので結局は當業者に於いても府尹の勸申に基づき原案を認定するであらうと觀測されてゐる

金肥使用激增
全鮮に亘つて金肥の消費は年々增加しつゝあるが殊に產米增殖計畫以來激增しつゝある、一例すると全羅北道の如き大正十四年度は金肥の消費量が三十四萬貫に過ぎなかつたのが十五年度は倍二十六萬貫と一倍近くなり前年に比して約三倍に達した今年は植付後の天候が順調であつた爲め更に激增する見込である即ち朝鮮では植付後早くも水害のなかつた時候が植付期を經へに施肥したが幸に今年は天候が適期であつたため一時肥料市の門前に任用をなさんばかりの盛況を呈した内地の金肥使用量に比べると全北の如きもまだ少いが全鮮の金肥消費料が段當十五錢（十四年度分十五年度は朝鮮來了）であるのに比べると全北は既に肥料を多く使用して居た地方である。

生糸手合旺盛

【横濱電報】卅一日同日一時來原絲出部を主力としてマバラ輸出商殆んど總出の姿で買進み相場最後期十三百二十圓の前値ながら品により十圓高で相內輸出に行はれ原輸出部五萬斤日本生糸條各一萬斤三十日物絲亞シルク十四番各一萬斤其他計十八萬斤出來夕方までには二十萬斤以上の手合はせ出來るべく豫想されてゐる

全滿水稻增收見込

【奉天電報】全滿水稻の豐作見込は大暑同時と大雨なき天候不順及胃中發生等の關係で其後多少の豫想を来したが先づ全滿を通じて一割内外增收見込みであるなほ奉天前後は平年作の八分增收である

綿布海外引合旺盛

現在日本の綿布は世界的に安いために最近綿布の品質に伴れて海外の引合頗る旺盛にて之等の買物に就ては聞き切れない状況であるがために日本の綿布の主要輸出先の大部分を占むる東洋綿絲の如きも三十日より四日間綿布の賣止めを發表した程の盛況である

麥粉漸落

小麥は米麥見直しに三十四仙八分の一と落した爲め九州小麥の如きも二日渡七圓三十錢を唱ふるに至りこの影響を受け製粉も日下閑散期であるが東館の市情と買氣不引立にて市場不況對落步調を迎つて居る當分はこの儘推移する外あるまい

京城手形交換高
卅一日
枚數　一、七〇四
金額　（一日）一、五三四、四八八、二五五錢

株式

大株短期引跡
大新	七十一圓六〇	（十錢安）
鐘新	百十八圓七〇	（卅錢安）
久原	四十八圓四〇	（卅錢安）
東新	百卅四圓十〇	（卅錢安）

期正米
各地期米納會値
名古屋	三五、三六▲
金澤	三〇、三六▲
熊本	三一、一七

堂島俵合及取組
	賣方	買方	取組高（石）
中限	一八	二五	八五、〇〇〇
先限	二二	二二	一〇三、八〇〇

市中米穀標準値
九ヶ四等米	二九圓一〇
合ヶ三（米穀値）	二五圓五〇
七等白米	三三圓九〇

京城日報 山東撤兵

一

五月下旬青島出兵、七月上旬濟南出兵、しかして八月下旬撤兵となつた。この撤兵は、果して前後二回の出兵が失敗に歸したことを證明するであらうか。いふまでもなく政友派はから論ずるであらう。しかし外務省の聲明によれば、さきに「濟南、膠濟鐵道沿線地方に[illegible]の危險切迫したる[illegible]において「暫にして今日に至るまで[illegible]人の保護を全うし何等不祥事の發生を見ざりしは自ら出兵の効果たるを疑はず」とある。たゞ田中首相は廿九日閣議において「今回の出兵は南京事件の二の舞を未然に防ぎ、[illegible]と見られた支那人の[illegible]せしめたい」と述べた。われ等はいづれにくみすべきか。

二

われ等の出兵問題に對する意見は、しばしば述べた如く努めてこれを無名の師と呼ばねばならない。[illegible]ろ政略的には田中内閣の[illegible]政策にも[illegible]するが、[illegible]段と方法とについてあまりに[illegible]でなかつたとはわれ等もこれを認めなければならぬ。[illegible]

三

われ等は、五月下旬の出兵は當然のことであつたと信じた。[illegible]に青島などに兵を留め[illegible]に濟南に進出せしめざりしか[illegible]ずして、從つてそれだけ支那人の[illegible]を刺戟することも少かつたはずであると共に、[illegible]やうな事件に[illegible]することは無かつたであらう。しかして七月の[illegible]なからうかと思つてゐる。我等は七月二十六日の本欄において撤兵を高調し、[illegible]兵の目的が[illegible]達したと信じて撤兵したらよいではないか。下らぬ面目論に拘泥してはならぬと主張したが、政府がグヅ〳〵に撤兵を延ばしたのは、七月[illegible]の「鐵道沿線の出兵」の手段余儀なかつたので、それは[illegible]に撤兵しなかつた[illegible]な手段がいつまでも[illegible]。

四

われ等は田中内閣が今日まで撤兵を躊躇したのは、一面において何か重大な[illegible]を行ふゆゑんではなからうかとも[illegible]にして居たのであるが、それは全く裏切られ[illegible]撤兵したために少くとも一ケ月間は撤兵を遷延せしめたのである。[illegible]た。[illegible]列國にては今日における[illegible]がある。政府が[illegible]に支那の[illegible]がある。[illegible]に夕をはかるべからずといふので大事を取つて撤兵を延ばしてゐたのなら、[illegible]しかも田中内閣はなか〳〵[illegible]に[illegible]する。その氣焔が、出兵にも撤兵にも、ドッチつかずの醜態に出でしめたのである。しかし[illegible]でゆくのは先づ無事である。現内閣が[illegible]的空想を捨て撤兵を斷行したのは、自己を知るものといふべきでもあらう。

朝野の名士は朝鮮博をどう見たか
―その感想と批評

故郷に歸つた樣な懷し味を感じた 尚一層の努力を願ふ
内閣賞勲局總裁 宇佐美勝夫氏談

大變な評判なので[illegible]まして參りましたが朝鮮に[illegible]なのに驚かされました

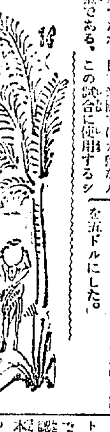
特に 久しく朝鮮に住んでゐた私にとつて實に故郷に歸つたやうななつかしみを感じました。いや全く大盛況です。[illegible]

貢獻 です。かうした[illegible]は宣傳に協力してやらねばならない[illegible]この効果を知らしめ[illegible]ものです。[illegible]

忌憚 なくいへばかうした[illegible]があまりによく出來すぎてゐるといふ感もしました。[illegible]

入場料二百萬弗 斯界世界選手權大試合 デンプシー、タニーの

[illegible]カゴのソリージャース、フィールドのスタジアムは使用料[illegible]なかり、一夜で十萬ドル、元締リカード、テックス氏は少くも十五萬ドルの[illegible]があると見ており、この入場料は二百萬ドルに上るといつて居るなはリカード氏は五十ドルの[illegible]を四十ドルに値下し一番安い席を五ドルにした。



英領北ボルネオ
折田一二

「タワオ」の住宅

タワオ日本村ノ組 富永利吉氏夫妻家族

十七歳の時にハワイに渡り十七年後[illegible]にありハワイの[illegible]るを[illegible]とし[illegible]八ケ年[illegible]を友とし[illegible]示しつゝあり今や百四十英反の大ヤシ園主たり[illegible]夫人[illegible]メリーナアミリーなり

勞農露國の反宗教運動
「宗教は阿片だ」…… 合理的な其の宣傳

從來の [illegible]

宗教は人心の阿片なり、宗教は[illegible]といふのはレニンの言葉でありロシア共産黨の[illegible]反宗教運動の[illegible]となつてゐる。[illegible]

舊慣を 打破し共産主義[illegible]

學校に おいても、[illegible]

信者の [illegible]

衰亡の [illegible]

遷り行く支那と反省の日本（一）
早大教授 青柳篤恒

本稿は八月[illegible]早大教授青柳篤恒氏講演の[illegible]である

[illegible]

生徒に [illegible]

長距離飛行新記録

[illegible]

壯烈な驅逐艦の主力艦襲撃
犧牲になつた艦の遭難 夜間演習では不可抗力

[illegible]

奇襲の方法 によつて[illegible]

白晝怒濤を 衝いて[illegible]

演習に懈怠 [illegible]

危險を伴ふ [illegible]

銘茶 陶磁器 和波商店 京城大和町二丁目 電話二二八番 振替京城八四七四番

石版 活版印刷 合資會社 芝田印刷所 京城大和町 電話一五三番 振替京城六二五三番

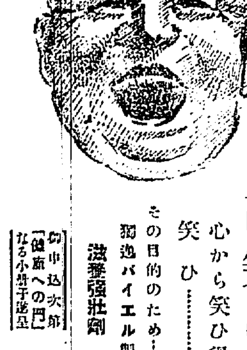
時計と眼鏡は 時寶堂時計店 京城大和町二丁目

耳鼻咽喉科專門 坂井醫院 醫學博士 坂井清 入院隨意 診察時間 電話 本院 自宅 京城南大門通 日本生命ビルデング

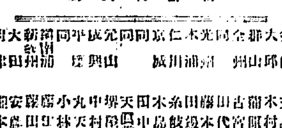
洋鐵、銅鐵、船舶 土木建築材料 パイプ、機械、工業用品 ○角野商店

新築 閑靜 清楚 東萊温泉場 御旅館 よあ井 内湯設備あり 電話二二番

創立 明治參拾貳年 倉庫業兼營 株式會社 朝鮮商業銀行 京城府南大門通貳丁目百拾壹番地 頭取 和田一郎 副頭取 趙鎭泰


高笑ひ……！ 心から笑ひ得るものは唯健康者のみ 笑ひ……健康……人生の快樂 その目的のため……ここに 獨逸バイエル製 滋養強壯劑 ソマトーゼあり。 御申込次第「健康への門」なる小冊子進呈 神戸市仲町三七 バイエル、マイステルルチウス 藥品合名會社 BAYER

●成功者のポケットには必ず荒川のノーシンあり●

世界第一、良品廉價 特徴 振動不感 指示正確 機械堅牢 印章極厚側 ハフイス高級時計

세계제일의량품을염가로제공합니다
朝鮮時計店 [illegible]

毛髮保護、薬用雲脂除 處方明記○ミツワ家庭藥三十二方の内 ○ミツワ養毛液 定價金六十錢

雲脂は脱毛の前驅 雲脂が多いのは皮脂腺の腐敗作用に依るもので、[illegible]
主效 一、雲脂の過多。一、若禿。一、急性熱病の結果。一、産前産後。一、皮膚病の惡き發疹の後。一、毛髮の薄き方。一、頑固ならぬ台灣坊主。一、其他脱毛を防ぎ毛髮の發育榮養を助く。
東京 丸見屋商店 ○ミツワ石鹸本舗

一道一品推薦

朝鮮名産投票

ハガキに道名と目的物及び投票者の住所氏名記入の事

卅一日迄の整理數

締切九月末日

忠北道

六二二八票 芙江苗木
一二五九票 天然炭酸水クリスタル
三五四票 煙草
一六一票 黑鉛
一二二票 永同柿
五八票 朝鮮紙

[illegible]

咸北道

五四二三票 ツルチュクシロップ
七二票 昆布

[illegible]

黄海道

五二一八票 北栗無砂米
三六八三票 黄州林檎
三五三〇票 載寧燒酎
四六〇票 朝鮮燒酎
一五三票 遂安栗
一三六票 長淵牛

[illegible]

京畿道

四一四九票 楊州栗
七九九票 蒲鉾ソー

忠南道

五八八五票 鳥致院櫻苗木
三五九二票 鳥致院リンゴ羊羹
四八〇票 成歡甜瓜
四一二票 リンゴカステラ
一六〇票 天安胡桃
一〇七票 論山の酒
五〇票 柳細工

[illegible]

七四八票 素砂の桃
六七七票 長湍大豆
三〇二票 健稻油
二五一票 朱安の鹽
二二九票 仁川醬油
一四〇票 人蔘
一一四票 安養栗
一一三票 江華花紋席
八四票 仁川燒酎

[illegible]

平南道

三六七一票 寧遠牛
三四六五票 平壤燒酎
二七〇四票 竹中炭
五七一票 酸カルシューム
四九八票 平壤ハム
三五八票 羅川光德
二〇〇票 孟山黄楊
二〇〇票 安州炭
二五〇票 寧遠材
一五二票 海州官紗
一二九票 寧遠麻布
七三票 寧遠蜂蜜

[illegible]

平北道

三四六六票 渭原端溪硯
一六〇八票 乾蝦
一五四二票 義州牛
五六四票 龜城牝牛
二一〇票 南市の鹽
一〇七票 熙川紬

[illegible]

慶北道

一六四〇票 大邱リンゴ
六六一票 大邱インク
一四六票 杞柳製品
五七票 大邱牛皮鞄

[illegible]

咸南道

三三四〇票 元山カラマツ苗木
一〇〇〇票 木材
九一一票 義州大豆
五一一票 金
一二六票 咸興林檎

[illegible]

十月十日から
朝鮮特産宣傳大會
於京城 三越吳服店

全南道

六〇六票 白棉
一三七票 トース（煙油）
同福人蔘
五〇票 筒椅除川

[illegible]

全北道

二四八票 金堤米
一三八票 扇子團扇

[illegible]

江原道

二四五票 月井里リンゴ
二四〇票 蘭谷ハム
九八票 松の實羊羹
九一票 洗浦カラマツ苗木
六六票 蘭谷牛
六一票 松の實
五六票 煙草

[illegible]

慶南道

一〇七票 龜浦梨

[illegible]

慶尚南道

府協議員から陳情か
業を煮して本府へ

釜山府にて計畫せる釜山驛前の道路舗裝、下水道の新設、溝渠の新設工事等は初認すでに着手せる公會堂、公設グラウンド等の如きも遲々として工事進捗せず道路下水の如きは殆ど立ち消え狀態にてその後の成行きは沓として消息がないので府協議員はかゝる諸計畫が些も進捗のキザなきは不都合なりと三十日理事者の責任ある言明を得る必要ありとして會議招集の形式にてその後の經過を聽取したが可成り猛烈なる質問ありたる由にて近日中協議員より委員をあげて總督府に陳情のため上城せしむる模樣である。（釜山）

積極方針で 朝郵活躍
優秀船建造

朝鮮郵船にては豫て船舶改善につき協議の結果積極方針にていよく活躍を開始するに決定しその第一歩として百萬圓を投じて優秀船の建造計畫を樹てたが三千六百トン級速力十三ノットの貨客船二隻を手すでに浦賀ドック會社と契約成立し竣工は二月および六月何れも近日上の豫定である、これが船舶は目下取扱めのため森田社長は東上出張したが場合によつては更に[illegible]航路に延長して貨客の要望を滿たすと共に一方内地方面の[illegible]をも誘致せしむる[illegible]

晋州道路工事着手

[illegible]工事は十二月末である（晋州）

馬山高女生 游泳中溺死
學校當局の責任問題起らん

【馬山特電】馬山高等女學校二年生大森政子は卅日午後職員生徒と共に第一海水浴場にて游泳中溺死した、同女は釜山地方法院判事大森義雄氏の令嬢で學校當局の責任問題とならんとしつゝあり死體は直ちに[illegible]

本社寄附金使途決定
衛生功勞者と棟梁兒童表彰

[illegible]

慶尚北道

玄風橋架設
數日内に入札

すでに架設中にあつた大邱より慶[illegible]

合格叺買付指定問題
一紛糾惹起せん
道當局は適宜の處置といひ 組合は本府に陳情か

釜山叺組合は既報の如く新に[illegible]

内鮮融和
結婚四十二組

目下慶北道における内鮮人間の結婚數は全部で四十二組であるがこれを内譯して内地人にして朝鮮婦人と結婚した者が九名、朝鮮[illegible]

大田の大野球戰
來る三、四の兩日 鐵道グラウンドで

大田の野球熱は昨春來[illegible]

紫雲英栽培 指導會

慶北道農會では左記の日時場所に[illegible]

▲九月三日午後一時 [illegible]
▲四日午前十時 [illegible]
▲五日午後一時 [illegible]
▲七日午前十時 [illegible]
▲九日午前十時 [illegible]
▲十一日午前十時 [illegible]

ネコ自殺
營業の失敗で

[illegible]

三南地方を視る（六）
一記者

教育費の差等

[illegible]

商盛の夜橋

[illegible]

納凉地の藥浦

[illegible]

井戸の調査

[illegible]

晋州道立師範

廢校防止の運動
公職者大會を開き 要路に向つて陳情

[illegible]

平安南道

一驛一店 反對陳情
商議と鐵道へ

[illegible]

萬頃江橋工事入札

[illegible]

忠清南道

野球放送 大成功
大田のファン熱狂す

[illegible]

ダンス倶樂部
妓生に教授

[illegible]

消防協會規則決定

[illegible]

犯罪件數 百件に及ぶ
チャミ團の片割れ自白

[illegible]

匪賊討伐隊 歸る
卅九日平壤へ

[illegible]

第三回優勝旗爭奪大田野球大會
▼期日 九月三日（午後三時） 九月四日（午前十時午後三時）
▼會場 鐵道グラウンド（大田鐵道局前）
主催 京城日報社大田支局

赤インキ

[illegible]

黄海道

刑務所で硝子製造

[illegible]

築港問題報告會

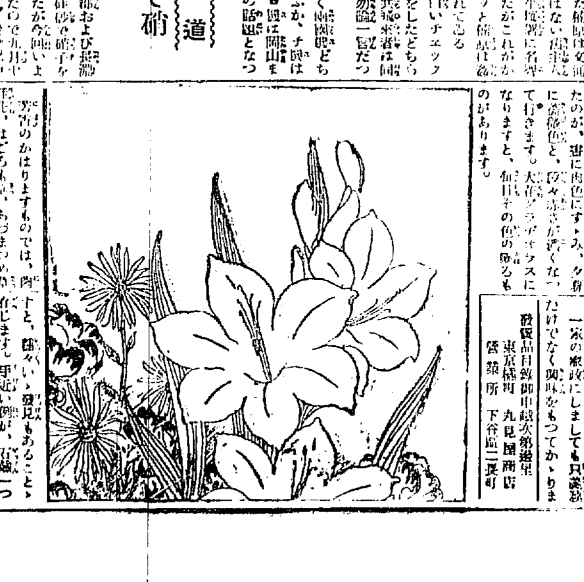
[illegible]

地方人事

[illegible]

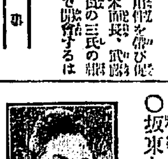
匂のかはる花
守田勘彌

[illegible]



○坂東しうか

[illegible]



ミツワ
[illegible]

仁川商議の改選に絡る挿話（二）

山岸生

◇……いま全鮮で論議のたねとなつて居る運賃問題は、賛成、反對兩派の渦をまいてゐる問題の裏面には兒玉（内閣）両氏が立つてゐるが、合同の本家は吉田秀次郎との人である、若し仁川の商議が仁川商議を動かして合同反對に出たなれば、台頭の吉田は、合同賛成の吉田として立働せねばならなくなる……

咸鏡南道

銃聲は煙火か

元山界色めく

咸南雜俎

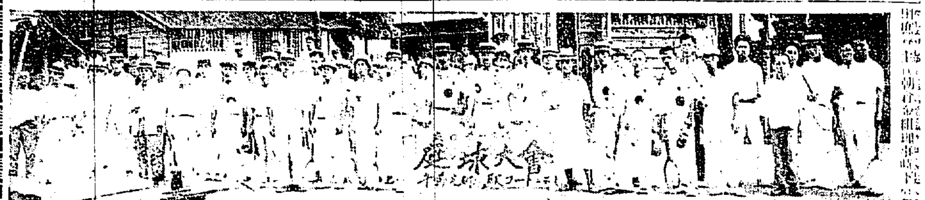
京畿道

光暢法主

仁川で親教

平澤の庭球大會

本社支局主催



庭球大會

平安北道

火事の火元判明せず

悲慘な燒死した娘の家

漁業起債認可

廿五萬七千圓

鰯の群來る

仁商選擧漫談

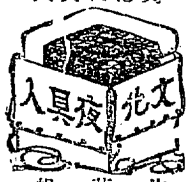
立府 仁川病院
電話 事務用一六番・病室一〇二四番
院長醫學博士 岩井勝三郎

タオル
御誂印入 綾シヤツ メリヤス 沓下類 卸商
釜山長手通
村上タオル工場
電話 一〇八 振替京城一〇八五番

資本金壹百萬圓
（銀）
本店 全州 電話 一一七四、一一六番 振替京城八一一八番
株式會社 三南銀行 頭取 朴基順
支店 裡里 電話 一二〇七、一七〇番 振替京城三八〇二番

キツチン ランチ 一名二十錢
不意ノ御來客ニモ 常ノ御食卓ニモ
ソーセージ
ハム
燻肉 シラキ燒
東洋軒

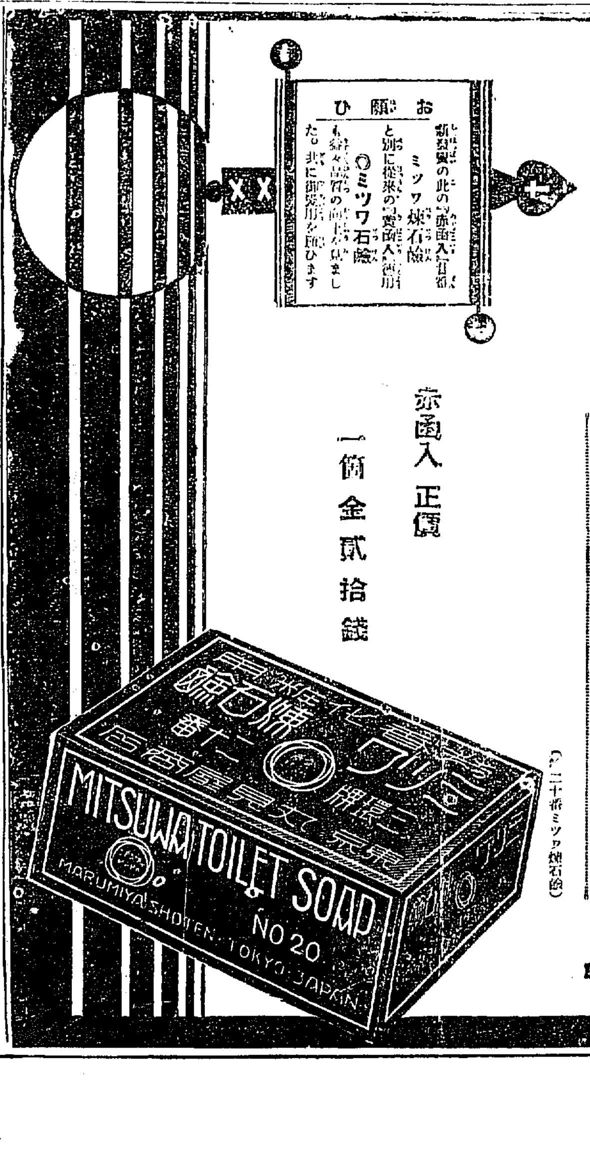
文化夜具入



御旅行の時御利用の節非常火災の時上等夜具保存に長持代りに是非無くてはならぬ最も便利な極めて安價な經濟的文化夜具入れ
生ズック上 三枚入 四圓五拾錢／四枚入 五圓五拾錢／五枚入 五圓五拾錢
茶帆布上 三枚入 五圓／四枚入 六圓／五枚入 七圓
帆茶布別上 三枚入 六圓五拾錢／四枚入 七圓五拾錢／五枚入 八圓五拾錢
（外に三木綿革附あり特革附きの分は各々壹圓上り）
京城本町一丁目
創製造販賣 高木鞄店
電話本局 二三五四番
（地方の御注文は代金引替にて送ります）

本日は蛔蟲驅除デーです
本邦に於ける蛔蟲寄生者は百人中六十人を算する大多數です
お兒達には甘味くてよく効く
マクニンゼリ
二十錢・五十錢・壹圓・貳圓
大人方には醫家の推奬する
マクニン
錠劑・粉末・液狀
（文獻・說明書進呈）
藤澤友吉商店
Y―22

學校の成績
ノーシン
頭が重くてボンヤリした時◆頭の痛む時◆ボンヤリした時
ノーシンをタツタ一服◆頭がすつきりして勉強が出来る



お願ひ
新發賣の此の赤函入りは從來のミツワ煉石鹸と別に從來の赤函入りを御用ひになる方は
◎ミツワ石鹸
をお求め下さい

芳香化粧用 第二十番
◎ミツワ煉石鹸
嘖々の
御高評を頂戴、發賣須臾にして此賣行を見る、何とも有難い儀に存じます。文字通り馥郁の芳香と、實に豐かなる其泡立ち、品質の特に優れたるは、從來の類種に見ざるの、自信を有して居ります。
（第二十番ミツワ煉石鹸）
赤函入 正價
一個 金貳拾錢
◎ミツワ石鹸本舗 東京 丸見屋商店

冬物品揃

九月七日・八日・九日　於弊店
半襟服装品
新柄陳列會
特價品提供
京都市室町蛸藥師
株式會社 細田商店西店
營業所 東京・大阪・名古屋・横濱 [illegible]

今秋新製品發表
王華友仙
尚美友仙
京縮着尺
尚美着尺
京好着尺
ヒヒヒ銘仙
金城銘仙
京美銘仙
尚美秩父

九月九日・十日
秋冬織物
新製品特賣會
各國織物問屋
株式會社 平松商店
京都市東洞院六角

黒紋附界之權威
特許第七一四一一　金鷹　羽之印染　京都
京都
鷹之羽印染發賣元
塚喜商店

九月九日・十日 朝八時半より
目新らしき
秋銘仙の會
京都 下村株式會社 烏丸四條
關東織物
沖縄呉服
京染
貴婦人セル

秋冬物品揃
西陣織物
京染呉服
關東織物
蝴蝶印 純毛セール
株式會社 上田勘商店
京都市ゐけず松原

九月五日・六日 兩日 於弊店內
初秋大陳列會
時好品販賣會
株式會社 安藤商店
京都市東洞院高辻

九月三日・四日・五日
第二回
秋冬物大賣出し
品々數御來會奉希候
織物各種問屋
伊吹合名會社
京都烏丸綾小路

西陣帯地
平井仁兵衛商店
京都市蛸藥師烏丸西入

京呉服卸問屋
合資會社
羽田商店
京都市室町四條南

由良の助印御裏地
アポロン染御裏地
與市印御裏地
忠勇印御裏地
ナイス印毛斯
象判ナフトール毛斯
永樂屋
細辻伊兵衛商店
京都三條
太物問屋

九月七日・八日・九日 三日間 於弊店內
秋冬向
新製品特賣會
京染呉服
西陣織物、格安珍品豐富
京呉服問屋
外村市京店
京都四條烏丸

關東織物　京染呉服
モスリン
純麻のらむし上布發賣元
大橋彌一郎商店
京都五條室町

純黒御紋附
九重染
誂部擴張
通信販賣部開設
御中越次第正確ナル蒐入ニユース御送附可申上候
株式會社丸紅商店 京都支店

關東織物西陣帯地
丸丹合名會社
京都東洞院佛光寺

萬年社京都支店扱

第四回全鮮野球爭覇戰大會…第三日

4—2
壯烈な大血戰
遞信遂に勝つ
慘として暗涙を呑む全州軍
大會準決勝戰終る

卅日準決勝戰の第二試合を飾つたオール全州對遞信倶樂部戰は豪雨の大投手戰を演じて十一回の延長戰となつて一對一のドローンゲームとなつたため、卅一日午後四時からその再試合を行つたがこの日朝來暗雲低く垂れて時に降り時にてり、天候定まらず、丁度この實力の戰に似た試合の豫斷しがたい前途を思はす様であつた、午後三時頃漸く晴れそめた時には、それでも會の熱意して觀衆が陸續とつめかけてメーンスタンドは勿論、兩翼スタンドも寸隙なく人の波はかさに色どられて黒く渦卷くうちに拍手と歡呼に迎へられた一瞬の沈黙恐ろしいまでに立ちのぼる壯觀のうちに、雨に洗はれたグラウンドに兩軍のナインはユニフオーム凛々しく、どよめく歡呼に迎へられて入場し、神に通つたシートノックに滿場を醉はせて止まなかつた、かくて定刻丸山主審の朗かなプレイの宣告に戰の幕は切つて落された、時にどよめきはハタととまつて深いしじまが滿場を領した

スコアー（鳩信）

全（先攻）		遞
0	一	2
0	二	0
0	三	0
0	四	0
0	五	2
0	六	0
0	七	0
0	八	0
2	九	0
2		4

本記

忽ち起る猛鬪
遞信一點を先取
兩軍必死に挑み戰ふ

遞信對オール全州の再試合は卅一日午後四時卅五分丸山（球）吳（壘）山角谷（壘）三氏審判の下に全州先攻で開始

鐵桶の守備
續いて好打

一回表全州一死後高木眞砂的に四球を選つて、佐藤二壘ごしに安打を放つたが中野のファウル、ライン二寸の外に放つた大飛球を竹村よく追つてシングルでつかみ相殺を防んだのは美技といふべく同時につかんで離れた間に飛球とした好走せなかつたのは、全州走者の油斷といふべきで感心出來ぬ所であつた裏に入つて遞信佐武に尻ゴロを轉したがショート惡投して生き、昨日と打撃順を違へる花野のテイスバンドに送られて得點圏に進み[illegible]の小打に三進、つゞく西[illegible]の一のとき二壘遞の絶好の安打

遞信の大飛球
更に二點を加ふ
大勢は既に定まる

所が、二回、三回、四回、と試合が膠着されるうちに打撃戰復しこまた昨日の投手戰にうつるかと思つた頃、兩軍に三人づゝ、きちん／＼と過ぎて五回裏全州凡打のあとを受けた遞信一死後、竹村の二壘安打に始まつて佐武第一球をひ

お爺が見て居る

蒲原遞信局長けふこそと三壘側スタンドに陣取つた。おやぢが見てゐるのと選手の應援を加へて遞信は一生懸命

のうしの如く上つた飛球つゞいて[illegible]を使がせてボックスに立つた時、中野無難に三盗を試みた、すでに三壘の途を存して僅一點が[illegible]にをることの時の自軍はかゝる冒險を企てるべきではない、かくて御中の飛球をあげてその三盗成つたが岡本また、中堅前に安打してほな

鶴さん頼むぞー

を放つて佐武をかへし上つ二壘を衝ふ、つゞいて、大根第一球を左中間に痛打すれば鮮かな二壘打と

ボール裏の園上の人、バッターの格好で名前が判る、四番を郎は柳橋は全州に與る、二番、三番で挾殺された中野若ボヂシヨンに還ると後ろの園の上から心配するな今度はいゝぞ。果して八回に一死走者二壘に出る「鶴さん頼むぞ」の聲四方から掛る當代の人氣は楢木君一人で背負つたやうだ、此の鶴さんを飛とはここまでも全州は不運なつて二本をかへし日野の三振でやんだが遞信は士氣をよくし、[illegible]から兩軍觀衆の[illegible]あらはる

必死となりて
全州軍突擊す
鬪士枕を並べて憤死

つかくよどみるまに遠く白線をひいて左翼柵前に轉々する大飛球を放つて三壘打とし一擧に竹村をかへすつゞいて藤野投手に安打出でこゝで三點間の好打に佐竹生還間出、二本の凡打に絡つたが打擊戰を豫想されたこのゲームも、その後の推移は、こゝに遞信の勝利を決定したかにみえた六回はまた[illegible]打してうつる。

『大根ーツ』

きのふ『大根ーツ』とどなつた蒲原局長けふはわがこ等の優勢なシーンに見とれてニコ／＼

ラツキーセブンと呼ばれる七回は來た、全州は[illegible]す總凡退にや、凡退の意味あつたがそれでも三振佐藤か

二木捕手の目と砂

遞信軍二木捕手打者の後足で眼に砂が這入つた、戰友驚いて驅付ける、木村山田醫師も看護婦を連れて驅けて登場に及ぶとケロリと治つて仕舞ふそれが二回に及ぶので觀衆はワアリー

ら[illegible]なつて攻め立てた、[illegible]を[illegible]ぎたが[illegible]した、[illegible]に[illegible]れて[illegible]した、つゞいて中野、第二球を[illegible]にゴロを[illegible]してショートの[illegible]に生きた、[illegible]は[illegible]、中野は[illegible]に[illegible]、生氣は[illegible]くみなぎつて來たが[illegible]にフライをあげて

頭が高い！

一壘側は男も女も全州に後援する。試合にもまれて個々通行人があるので頭が高いッ、ヘッと計り通行人面を下げ腰をかゞめて前を通行に及ぶ、八回に遊擊松木君

松木が[illegible]とみるまにシングルを[illegible]に二本を[illegible]殺したのは[illegible]ある美技であつた

最後の奮鬪で
全州二點を酬ゆ

の[illegible]に[illegible]の時は來た、全州一死[illegible]のち佐藤はよく四球を選んだが[illegible]はかくてつたかれた[illegible]い[illegible]打を[illegible]つて[illegible]をかへした、[illegible]のどよめきはのろしの如く上つた[illegible]つゞいて[illegible]を[illegible]がせてボックスに立つた時、中野無難に三盗を試みた

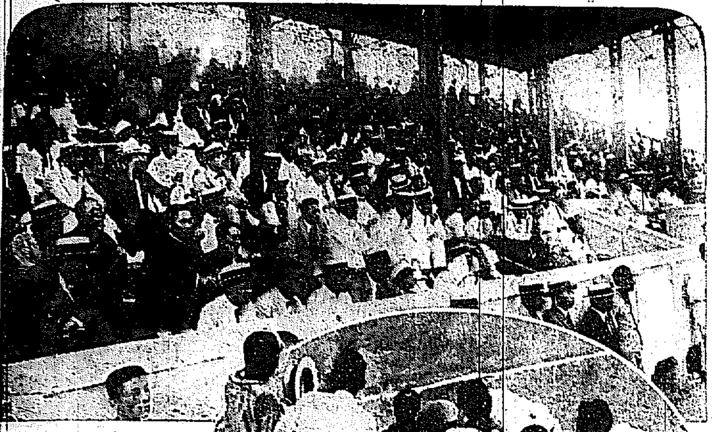
一[illegible]をかへした、しかし[illegible]、四十五分[illegible]した

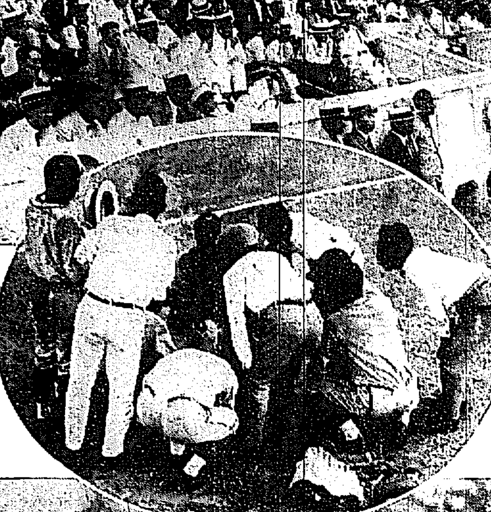
全州 先攻		打數	安打	二壘打	犠打	四死球	三振	失策
（遊）	松本	3	0	0	0	0	1	2
（投）	宮本	3	0	0	0	0	1	0
（中）	佐藤	3	1	0	0	1	1	0
（捕）	中野	4	2	1	2	0	0	0
（二）	柳	4	0	0	0	0	0	0
（右）	楢木	4	1	0	1	0	0	0
（一）	田中	4	1	0	1	0	0	0
（左）	松井	3	0	0	0	1	0	0
（三）	橋本鎭	3	0	0	0	1	0	0
		31	5	1	4	3	3	2

遞信		打數	安打	二壘打	犠打	四死球	三振	失策
（三）	佐武	4	1	0	1	0	0	0
（遊）	花野	3	1	0	0	1	0	1
（一）	前田	4	1	0	0	0	0	0
（捕）	二木	4	1	0	0	0	0	0
（二）	大根	4	1	1	0	0	0	0
（左）	日野	3	0	0	0	0	2	0
（投）	松田	3	0	0	0	0	0	0
（中）	高水	3	0	0	0	0	1	0
（右）	竹村	3	2	0	0	0	0	0
		31	7	1	1	1	3	1

「貴方や、貴方や」！

五回またも遞信に好機が來た。安打に出た竹村佐武の二壘打を入れた花野の安打で一點を加へて意氣更にあがる。サイド側のファン總立ち。此の中に混つて十一、二の男の子が、次の來を持つて踊つてゐる、傍の婦人見物が見るに見かねて「一寸あの子…貴方や貴方や」と注意してゐるがボールに見とれて一向利き目がない





準決勝の日
寫眞說明（上）メーンスタンドの大觀衆（中）秘策を議する全州軍（下）遞信軍最初の一點佐竹本壘に入る

覇權は何れへ
愈よ兩雄の一騎打
何れ劣らぬ堂々の陣 苦肉の策
期待さるゝ優勝戰

覇權を[illegible]にこの[illegible]は[illegible]、わが[illegible]の[illegible]中である、廿八日に始まつて豪雨の大[illegible]、泰東の力鬪に[illegible]度か[illegible]戰、その[illegible]はこの[illegible]の[illegible]インにとつては[illegible]大の[illegible]の[illegible]をきたわれらの新戰も遂に半島の覇者を決する日が來た、今[illegible]後の大[illegible]をかざした、[illegible]倶樂部、一は新興の意氣に燃ゆる[illegible]、オール京[illegible]、[illegible]城の[illegible]を破つて遂に今本大會に、[illegible]を[illegible]と十一回の[illegible]試合にドローンゲームとなり、再試合を行つてこれを[illegible]せしめた中央代表、かつては[illegible]山[illegible]が[illegible]した好[illegible]打になるものである[illegible]に[illegible]あれば、遞信の苦肉の[illegible]があら、その內野その外野、[illegible]においても何れ劣らぬ[illegible]は[illegible]に餘り有、しかもまたその打[illegible]何れをとつても[illegible]の[illegible]かりである或は[illegible]的[illegible]を求めて、[illegible]に[illegible]光の[illegible]ありとすれば、[illegible]には新興の[illegible]たる[illegible]がある、[illegible]に[illegible]のコーナーワークあれば、全田に[illegible]へぬ[illegible]がある、一として[illegible]せざるはなく一人としてその[illegible]に[illegible]する[illegible]あるまい[illegible]に[illegible]、[illegible]打[illegible]く、その一[illegible]をゆるめぬ[illegible]は[illegible]く[illegible]した[illegible]として、[illegible]のファンの[illegible]べたる血を[illegible]かし、六尺の[illegible]を[illegible]せずにはおくまい、[illegible]たんか[illegible]島の[illegible]戰にあつて、[illegible]の[illegible]はわれらの[illegible]に[illegible]く、[illegible]れんか[illegible]の[illegible]なしく、[illegible]に[illegible]して[illegible]共に[illegible]かねばならぬ、[illegible]く

優勝戰
遞信—慶熙
球審 石井
壘審 鍋島、長曾我部
覇權を握るは誰ぞ！
けふ午後四時から
遞信—三壘側
慶熙—一壘側

極東オリムピック

次回は東京で

【上海三十一日發】極東大會三國代表會議は三十一日開催され左の諸件を決定した
一、次期大會を東京に開く（五月十日より廿二日迄）會長岸清一、第一副會長ホシアス、第二副會長、平沼亮三
二、審判の件は主催國に一任
三、種目選手制限
庭球四、野球一七、蹴球一五バスケット一〇、バレー一二
其他從前通り
四、女子選手權設立の件は、考慮
五、國際ゲームは第一回戰は選手權を持たぬ國が行ひ第二回戰は主催國又は次期主催國の組合せ（但し不可能らしい）
六、水泳のプログラムは豫選を第一、第三の兩日間、決勝を第二第四の兩日間行ふ

織田新記錄を作る

【上海三十一日發】十種競技成績左の如し
一等織田一五五〇四（極東新記錄）▲二等小山五一三二▲三等ボルタシオン四八一三▲四等四八六五▲五等三九宅四四九▲笹原同フエルナンデス四八四五▲同高田四十八五▲同アレイス四二八八▲同タマロ四〇九六

十種競技槍投げ

十種競技成績左の如し織田四十一米〇六、五▲小山四十八米四八▲高田四十三米四四▲笹原四十五米九九、五▲三木四十一米七七、三宅四十四米五九、五▲フエルナンデス三十七米四〇▲ブレーズ四十一米六九▲ボルタチロン四十五米一一▲タマロ三十四米九〇

五種競技結果訂正

【上海三十一日發】混成競技五種戰の結果は左の如く得點の變更發表された
一等岸名（日）二五四二二等藤田（日）二四八九三等ドリズ（比）二四四一四ロア（比）二三九三
右は一千五百米突のタイムが誤つて居たため計算が變更されたためである

十種高障碍

十種高障碍 織田十六秒五、小山十八秒二、高田十八秒七、笹原十九秒四、三木十七秒二、三宅十八秒六、フエルナンデス十六秒九、ブレイス十七秒、ボルタシオン十七秒二、タマロ二〇秒六、キンガンー

十種競技圓板投げ

織田二十八米三〇▲小山二十八米五六▲高田二十八米七七、五▲笹原二十七米五▲三木二十六米九▲三宅二十七米六、五▲フエルナンデス二十六米九〇▲ブレイズ二十五米七六▲ボルタシロン二十五米四九▲タマロ二十三米五二▲キンガンー棄權

八百リレー決勝

【上海三十一日發】八百メートルリレー決勝戰は左の如し
一、日比律賓ナーム一分三十一秒二、ネボムセノ、エストラダ、コンザガ、アンブラ
二、日本チーム 相澤、谷、吉岡、西本

オープンゲーム棄權

【上海三十一日發】庭球オープンゲームに對し日本側は申込をしなかつたが、支那側の好意に依り出場を薦められたが、協議の結果、日本は最初宣言の通り今回の大會中に於ては豫定外の試合は行はないこととしてオープンゲームを棄權した

2—0 日本軍大勝

【上海三十一日發】日比第二回野球戰は三十一日午後二時八分から蹴球場に於て、峠谷（蹴）三海林（蹴）の下に日本軍先攻にて開始四回表に日本軍二點を入れたのみで結局二對〇にて日本軍大勝

庭球ダブルセット

【上海三十一日發】庭球ダブル戰井上、松浦對林寶山、邱飛海はセツトオールとなつたが日沒の爲め中止となり五セツトは明日となつた

蹴球比支戰

井上・松浦（日） 7 6 2 6
林・邱（支） 7 4 6 8

比支蹴球前半は支那二比軍〇後半支那一比軍一で結局三對一で支那勝つ

遞信對全州の再試合を觀る
石井顧問評

◇第一回全州一死にして走者一二壘、打者中野君の打つた邪飛を竹村君須手思ひも寄らぬ執着力を以つて走りよく捕へて來らんとする様一の危機を救ひ得た大なる効果のあつたボを何人と雖も認めるであらう。此の時二壘走者宮木君は外野手が捕へてフアウルグラウンドに在り轉倒しつゝあつた為に捕手に[illegible]を[illegible]るべきリンヒットランの事を[illegible]り得なかつた、これはコーチヤーの罪でなく走者自身の凡ヘフドといはねばならぬ。

◇第三回全州一死後松木四球で一壘を得機を窺ふうち相手の術中に陷つて二木捕手の好投に刺されたのは輕率で自重すべきであらう。

◇第八回遞信無死一壘走者楢田君は二盜に封殺されたのは[illegible]か野手に衝突した、これはさ雖なことであるが守備者の轉倒を[illegible]んじて絕對に[illegible]けて頂きたい

◇同回遞信一死走者一壘に在るとき大根君の遊擊頭上を飛ぶ美事な當りを松木君よく飛んでダブルプレーを行ふ。恐らく大會中の「野手としての最美のプレーであらう。

◇九回全州は金田投手に對する打法の策全く無きかと思はれたが一死走者一壘に在るとき中野君を與へた。同君は中堅の右寄りにフライを打撃てゐた走者は無謀にも二壘に走る好機を[illegible]をあげた。中野君は二壘の[illegible]と[illegible]ばならぬ。[illegible]打つて[illegible]れば最後の[illegible]で[illegible]に[illegible]られもツヰントの[illegible]に[illegible]と[illegible]もの[illegible]を[illegible]るのを[illegible]には[illegible]のテキサスに[illegible]る[illegible]は[illegible]に入つた。此の[illegible]合[illegible]と三壘に止まつて次打に出た一壘走者を容易に二壘を踏ましめるべき策に出づるを適切なる處置としなければならぬ。三壘に走者を控へて二壘を盜まんとする走者に對し捕手が投球し得る[illegible]は[illegible]外である。君はすでに二壘に再度の盜壘を企てゝ成功して居る況してやエキサイトした此の場合に於いておや。

◇一評總一前日の投手戰に引續く此試合は今度は投手戰といふより打撃戰を豫想するが野球論の上からして當然である。即も私がこゝで申す打擊戰とは互ひに相手方の投手を研究し合ひ。以つて最善の打擊方法を編出すを指すもので必ずしも打ちまくることを意味するものではない。相手の投手の球を最も究め得た打法を以つてしたチームが勝を制した

◇全州宮木投手は元氣に投げ續けた。得意のアウトサイドを狙ふカーヴは前回に比してさしたる變化を見せなかつた、此の球に對して遞信軍の多數は上い備へを傭へてゐた。打者がアウトサイドの球に應ずべく構へ直した時にはもうインを破つてまた[illegible]からだよる食入る曲球、インシユートなどの反對性の球で

向ふべきである。三回頃までは此點が呑れなかつたらしい。わが珠に彼れのカーヴをして一層有効に使はしむるに効果のある反對性の球インシユートを除り用ひなかつたのは肩が弱つたのか忘れたのか。

◇遞信金田投手は彼の得意とするアウトコーナーのカーヴと共に球の[illegible]を全く變へる[illegible]に於いて全州の打者を全く翻弄にかけてゐた。同君にかゝる秀れたヘッドワークのある事は來るべき優勝戰に於いても多少肩が弱つても球の強さ以外に期待出來るもの一つである

◇全州の打法はプレートの比較的手よりに立つて居つた。若し頭を變へて投手よりに立つて當て主義に出たならばどんなものであらうかと感じた。

◇前回見た兩軍の實力とけふの試合とは餘りに隔れて居るやうに思はれるであらうが、此の變が野球技の面白い所でその時の長もいふべき連續する試合の興味とこれに伴ふ變化を遺憾なく發揮してゐる。兩軍の實力は此の試合に現はれたものを以つて盡されてゐると思ふ。

◇捕投も、楢木一時々の不安なくしかも捕打を以つて最初の二點

まづ順當だ
諸岡源吉

野球試合の結果は豫想されないとよく云ふが遞信と全州と比較して遞信が負けるとは思はれない、只宮本投手の好投によつて遞信は[illegible]を封じ得たので、昨日のゲームはクロースして補回戰まで行ひ無勝負に終つた、然し遞信は二回も[illegible]のチャンスに惠まれながら、バントが拙劣であつた爲、得點し得なかつただけで、試合としては勝味のあるゲームを續けて居た、果然今日の試合では變化に乏しい宮本の球と、幾分球勢の衰へたのをよく打つて堂々と勝ちは先づ順當である、遞信はかがあり殊に佐武、大根の安打に二點をリードして、好調に乘つて最後まで[illegible]し切つてしまつた、それにしても金田の球勢のないカーブを、最後まで打ちアグンだ全州の打力はあまりに振はなかつた敗因に含した大根の二壘手は將に遞信の至寶といふべく、此の守備は將に外國一流の三壘手の何れに比しても遜色ないと思ふ。

◇斯くして優勝戰は慶熙對遞信の對戰となつた。筆者は慶熙の打球に對する遞信の打擊策に非常な興味を覺えるものである（終）

單打主義
京電野球部監督 佐脇精

と賞する

▲遞信 昨日の戰勝に依つて打順を一變し而も單打主義に出たことは果然第一回と第五回に安打を集中して堂々得點した而も第一回の先取二點は同軍の志氣を鋼が上にも鼓舞して非常に氣をよくした

▲全州=最初から打氣に出て然も始終凡打に終つた、金田君の好投は勿論であるが今少し研究してほしかつた、九回迄は金田投手の好投と鐵壁の守備にチヤンスといふものを一つも得なかつた九回中野君が二壘打は振はざりし同軍の爲せめてもの慰みである

の最大なるものであり、然し九回裏中野の好打をキツ掛けに二點を返して遞信を追つた力戰は惜しかつたが時遲い、宮本投手は將來ある良い投手である、只球には外角をそれるスピードのあるアウトカーブとインコーナーをシユートする、それも特低目の球よりない、これに陶磁を研るアウドロが浮沈味の混球がほしい、昨日大根としては千慮の一失とも稱すべきミスのため、味方が苦しいゲームに陷れたが、今日の守備は相不變金城鐵壁

芝浦製作所の一齊罷業

【東京電話】芝浦製作所鶴見工場職工千二百餘名は賃金總支拂の要求を拒絕され卅日午後一時機業を開始したので會社は狼狽し事態は明朗に推移職工にも歸意が見えず事情を[illegible]したが不成功に終つた

猫入らずで自殺を圖る

卅日午後十時頃大和町二丁目三二府部[illegible]方大和田榮（三）は家庭の不和を悲觀して猫イラズ自殺を計つて苦悶中を家人が發見直に鐵道醫院に入院手當を加へた結果生命は取とめた

四人組の少年窃盜團

西大門署司法係では近來[illegible]の竊盜に[illegible]み犯人捜索に腐心してゐた處卅日午後十一時頃、齋藤町三丁目の或る主から[illegible]した四名の[illegible]團を[illegible]して[illegible]べた處[illegible]十數枚を所持しをり卅一日朝までに自白した犯行でも二十餘件に達し[illegible]犯者多數ある見込みで[illegible]き[illegible]査中

列車から辷り落つ

忠南扶餘郡[illegible]面[illegible]里[illegible]業[illegible]は卅日京城驛で發車せんとする際列車から辷り落ちて列車とホームの間に轉落し右足[illegible]より頭部を[illegible]ひ入院中[illegible]フランス病院に擔ぎ込み大手術を加へたがなか／＼の[illegible]である

京城郵便局の紀念貯金

近く宮中の御慶事の際は紀念のため全鮮一齊に[illegible]金を[illegible]することになつたので京城分[illegible]局では[illegible]く[illegible]を[illegible]るべく準備中であるが殊に[illegible]ある向きに[illegible]は[illegible]の[illegible]念なれば[illegible]が各戶に訪問[illegible]するとのことなほこの[illegible]金には[illegible]の中へ紀念の印をすることになつてゐると

口機岡山着

[illegible]機は[illegible]午後四時廿分無事岡山に[illegible]した（[illegible]局[illegible]）

少女の家出

府內[illegible]洞一[illegible]の娘[illegible]子（[illegible]）は[illegible]洞一四[illegible]家に奉公中廿六日夜姿を晦ましたが今に至るも判らず保護者より[illegible]に搜査を願ひ出づ

株券無効公告
[illegible]
昭和十二年九月一日
朝鮮銀行

各道郡御指定
ニノミヤ式石油發動機
ニノミヤ式製粉精米兼用機
同セントリヒューガルポンプ
同バーチカルポンプ
精米製粉機各種
製網機各種石油發動機提供
ニノミヤ
4, 5, 6, 8, 10, 15, 20, 馬力
在庫品豐富
【製品鑑定】
地方特約店募集
京城府西界洞三三
京城鐵工所
京城驛前
京城鐵工所營業部
電話本局九四一番

東京馬喰町二
井田商店
各地印刷所にあり
星名刺

頭痛にノーシン

小兒科
吉田醫院
醫學博士 吉田得次
診察 自午前八時至午後二時
黃金町四丁目十一番地
（明治町山口館前）
電話本局四八番

生徒募集
[illegible]九月二十日迄詳細は[illegible]
朝鮮[illegible]醫院

地圖と軍需品
龍山練兵町 電話龍山五二〇〇
小林又七朝鮮出張店

京日案內

看護 婦[illegible]派出 [illegible]
希望の方は本人直接來談ありたし
京城旭町一丁目三六九番
電話本局[illegible]
島崎病院

煎餅
[illegible]
名古屋[illegible]
[illegible]佛堂

賣地
住宅好適地[illegible]
[illegible]
[illegible]希望の方は電本[illegible]八三八番

下宿
[illegible]
勝山館

採用
[illegible]

南京
[illegible]

記者
採用二名[illegible]
[illegible]

夢に狂ふ (186)

吉井勇作　多田毅三畫

二狂人（二）

香賞は叛逆の旅籠屋で、不圖心が狂つてから、もうまるで、正氣のない日が幾日か續いた。親類のやうにしてゐる衛門の或る縁者の女將が引取つて、直に田舎の瘋癲院に入れたが、しかしそれから一層惡の間といふものは、かなり騒しい發作が引續いておこつて、一時はどうなるとかと危まれるやうな容態だつた。がその中にだんだん心が落ち着いて来ると、今度はひどく靜かになつて、ぼんやり窓へ凭込んでゐる時の方が多くなつた。そして或る時散歩の時間に不圖せん生と顔を合ふやうになつてからは、ひどく二人は仲が好くなつてしまつてつひには醫者の許を得て二人で一部屋の中に起臥をするやうになつた。

二人が話合つてゐるところを見てゐると、まるで親子か、或ひは師匠と弟子といつたやうな關係のやうに見えた。せん生が何か香賞にいひきかせてゐるやうな調子でしやべると、香賞はそれを默つて聞いてゐる——さういつた時は、時には何となく涙を誘はれるやうな心持ちにされることもあつて、醫者も看護婦も二人が一生懸命で話し合つてゐる時には、そのまゝ邪魔をしないやうにそつと出ていつてしまふやうなこともあつた。

もう何時の間にかこの世の秋が来てゐた。筑波颪が身を劈るやうに吹きすさんで、窓が冷たく雨を含んでゐる朝などは、この瘋癲院の庭を吹く風も、そのまゝいてついてしまふかと思はれるばかり寒かつた。が、落葉のはらはらと舞つてゐる庭を眺めながら、籐椅子のはまつた窓の中では、せん生も香賞もひどく樂さうに、時には大きな笑ひ聲を立てゝ、夢中になつて話込んでゐた。今日はわけても二人は機嫌がよかつた。

「えゝと……何だつたけな……あゝさう／＼……たましひの話か……。」

暫く默つてゐたせん生が、不圖思ひ出したやうに言葉を續けて、

「それがよ、何しろお前、足利時代にこしらへたたましひなんてやつは、もう可成り年代がたつてゐるし、するので傍が入つたりこわれたりしやすいので、どうも近頃じやあ、たましひのこわれ物が多くつて仕方がないのだ。」

「へえ、そんなにたましひのこわれ物が多いのかね。」

香賞は眞面目で不思議さうにきいた。と、せん生は大きくうなづいて

「多いともさ。」とゝにゐるやつのたましひなんて、滿足なものはひとつもありやあしない。お前なんぞ大きな傷が入つているんだぜ」

「さうかなあ。お前さんに人間のたましひが見えるんですかい。」

「見えるともさ。まさにありあり歴然と見えるね。」

「へえ、しかしさういつたってお前さんには、自分の魂は見えねえんだらう。」

「いや、見えるからおれは困つてゐるんだ。」

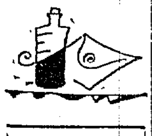
「如何してさ。どうして困つてゐるんだい。」

「どうしてつて……お前、自分の魂の毀れてゐるのを見てゐる位不氣味なことはありやしねえぜ。」

「なるほどね。こいつあああんまりいゝ氣持ちやあないだらうね。」

香賞はさういひながら倒ましさうにせん生の顔の翳りを見迴つた。

紙上病院



膿瘍手術後の瘢痕

（問）十八歳の男肛門に腫物を生じそのため臀部の左側が赤く腫れて手術をしました手術をした所に花柳病のために花柳病に罹つたと見なされるでせうか入營試驗の際檢査には如何（心配生）

答＝膿瘍手術後の瘢痕でせう入營試驗の檢査は他に大病がなければ合格です（外科皮膚科副戸病院長）

陰部濕疹

（問）二十五歳の女、三年前より陰口が痒くて困りましたが今は肛門のあたりがはれて心配して居ます三年前入營がイッキン……にかゝつてから退ひますが家庭療法および藥劑を教へて下さい（田舎女）

答＝陰部濕疹らしいですリゾールを少々洗面器の一杯の湯に入れ少し濁るまでかき廻しこれで臀部を洗ふたら痒さが少しは輕くなりませう。中々なほり難いものです。全身の健康には大丈夫ですが、その爲め眠れぬ程だと色々の故障を起こす事もあります（皮膚科外科副戸病院長）

疣

（問）顔面（特に鼻口及び鼻上）や手（手頸）にいぼが出來て困つてをります何か根絶するよい方法はありませんか（YK生）

答＝いぼに種々の原因がありますが硝酸の銀をつけて御覧なさい何れにしても無理で時とすると奇効を奏します（外科皮膚科副戸病院長）

シヤクリ

（問）四十歳の男ですが朝晩をたべる時シヤクリが出て苦痛を感じます食前か又は食後の症状で起こるのですか原因療法を御教示ください（一讀者）

答＝シヤクリ（吃逆）の原因は胃に關係あります。あなたのは食前か胃の状態か又は一種の神經病でせう。藥湯で内々ありますが次ぎの如きを試みてごらんなさい。一、硼酸水五十に淡塩丁幾一滴、加へ食前三十分に服用、ピラミドン〇、三を食前に服用（内科小兒科吉田博士）

流涎か

（問）廿九歳の男ですが一月十五日に眼が悪く六月は全く右眼はより例少しづゝあり二日眼の中に入れられる位の血のかたまりがくだりました別に大して痛みもしませんが出血のない眼頭部がしました治療せうか（鶯坂女）

答＝流涎であることは殆ど確かな様に思はれます、そして未だ完全に出て仕舞はないで滞留してゐるから出血がとまらないです早く専門醫の診察を受けられたがいゝです（當局入科二宮博士）

肺尖カタル

（問）肺尖カタルの友と同居し自分も感冒の診斷を受けたるところ心臓も肺も少し悪いと申し渡されました肺病は傳染に罹……ろしく肋年以上には恐るゝに足らずと思ひますが三十八歳の肋年にも肺病はなほ恐るべきでしやうか叉寝臺に適な食物をとるの外補田ドラツク、カワウソの肝、酸素吸入器等の藥器を用ひてもよろしきや御指教を仰ぎます、なほ昨夏マラリヤにかゝりました（卅八歳生）

答＝肺病は肋年期では治り難し肋年期にはなほり易いのは實際です、しかしこれは比較的の話で肺病の豫後を左右するものは罹患せる病竈ありとも思はれません、遊養物をとり、マラリアを根治なさるがいゝでせう。マラリアは一度の服藥で無効になつても、根治ではありません。體中に病芽が殘つて居て、一月或は二月ごとに再發しますそれで二ヶ月又は三ヶ月も繼續して服藥する必要があります。その外の藥劑は必要ありますまい。酸素吸入はこの場合役に立ちません（内科小兒科吉田博士）

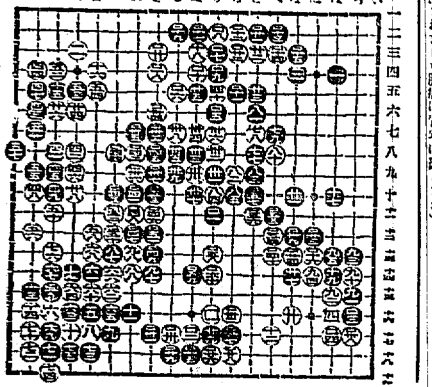
傳染病の豫防

（問）チブス、赤痢等を豫防する藥旅行中叉は宴會で食後直に服用すべき藥を教へて下さい（一讀者）

答＝確實な豫防藥はありません。稀鹽酸、稀鹽酸（水にうすめて）クレオソート丸など幾分効があるかも知れません（内科小兒科吉田博士）

圍碁新局（八）

先 木谷五段 坂口 〔初段〕〔三段〕



讀者らん

▲廿八日の（眠想生）や廿日の（へ山本）さん稀音は生活の眠想だ、市人の喧噪や、鈴、ラッパの音は誠ましい叫びの行進曲だ、われ等は血みどろの彼等の暗闘に眼を潰すべきだ……せよ闘れなべき暗鐵者として一（勞働者）▲鐘音は都會のつきものゝ一寸鳴響のキシリ行商人の呼び聲は都會のシンボルです私等は静かい彼等労働者の呼び聲に多大の同情を感ぜずにはをられません（ブロ代表）▲卅日の（依頼生）様松殿の係の方にお聞合せ下さい（善學生）▲喜樂上映の漕機といふ映畫を見ましたが燒き直した様な筋立下手な撮影、拙い右太衛門の立廻りにうんざりしました（凪のファン）

李王職御用 總督府御用 範模 全乳 大正牧場經營主 東亞牧場（電話二五〇番）

頭痛にノーシン

演藝案内

大正館 當る一日より特別大興行 斯界の權威羽田映畫 メトロ映畫 巴里は踊る 五卷 子に泣く 七卷 板割の淺太郎 八卷 [illegible]

黃金館 九月一日より特別大興行 愛の强者 全五卷 血櫻 前篇 [illegible]

喜樂館 日活現代劇部作品 魂の叫び 八卷 [illegible]

中央館 マキノキネマ 地雷火組 前篇 人間屑 全六卷 [illegible]

京龍館 八月三十日より 闇の中の顏 後篇 淨魂 全十卷 義に鳴る虎徹 全七卷 [illegible]

不斷の進步 不斷の御愛用

◎ミツワ石鹼

不斷の品質向上の爲め化粧品技術學的研究に從事せる專門家諸氏 理學博士 小平 亮氏 藥學士 河村正雄氏 工學士 三浦次郎氏 工學士 野中正夫氏

露園々

◇秋に成ります。皮膚のお手入れ
◇毛髮の衛生に、御注意下さい。

西洋人と違つて一般に脂つぽくて荒易い邦人の皮膚は、暑熱の後を受けて特に緩み疲れ、從つて荒れて居りますし、又毛髮は秋に入つて兎角に故障の生じ易いもので すから、此際、特に邦人の皮膚毛髮に適切なる様、不斷研究の悉されて居ります、作用の緩和な

◎ミツワ石鹼

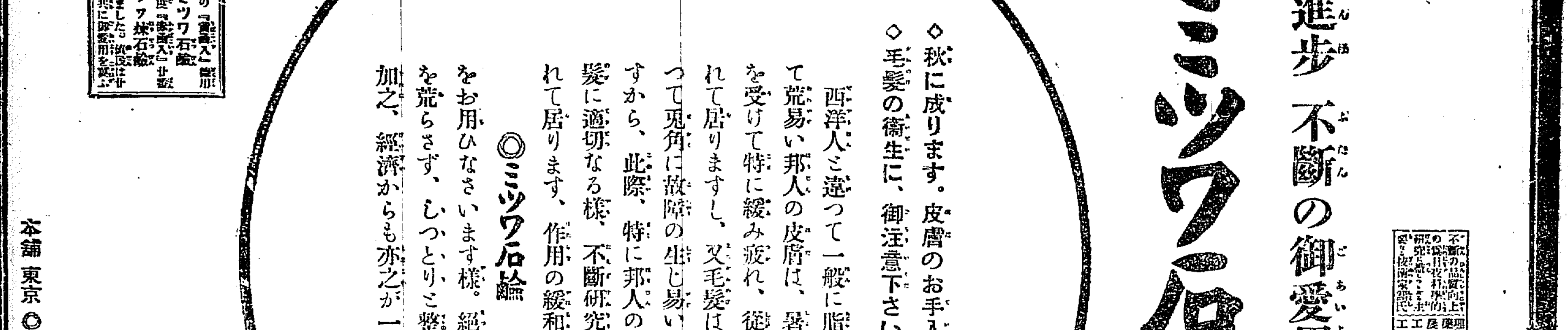
をお用ひなさいます様。絶對に之を荒らさず、しつとりと整へます加之、經濟からも亦之が一番です

本舖 東京 ◎ 丸見屋商店

お知らせ

殿家が此の「御家庭入」御用の外に今度「衛生入」廿錢ミツワ煉石鹼を發賣しました。箱入は廿錢です。共に御愛用を冀ふ

9.13



朝鮮郵船定期航路

西鮮各港線 △鎭江丸 九月七日釜山より 東海岸 [illegible]

大阪行 天安丸 九月九日 ……

大阪商船株式會社

阪門神戸大阪行（釜山木浦經由） 京城代理店 [illegible]

内地各港出帆主要航路 [illegible]

日本郵船出帆

△金剛山航路 使用船かも丸 [illegible]